浦添運動公園再整備基本構想・基本計画
4　再整備に向けての課題及び解決策

浦添市

- 現状の把握と取り組むべき方向性を踏まえ、関係機関、関係団体、利用者等の意向調査を実施します。
（関係機関・関係団体ヒアリング、市民、県民、観光客アンケート、庁内関係部局ヒアリング、先進事例調査等）

①　アンケート調査実施概要

	県民		観光客		
	市民	周辺市町村住民	てだこウォーク参加者	ヤクルトキャンプOP	観光施設
調査対象	• **利用者/未利用者**		• **県外** • **利用者**	• **県内/県外** • **利用者/未利用者**	
調査目的	• **利用者の満足度の向上につなげるためのニーズ把握** • **未利用者の利用につなげるためのニーズ把握**		• **観光客の満足度の向上につなげるためのニーズ把握** • **新規観光客の利用につなげるためのニーズ把握**		
実施期間	3/1（水）～3/17（金）	3/1（水）～3/6（月）	1/30（月）～2/28（火）	2/23（木）、2/25（土）、2/26（日）のオープン戦及び平日実施	**ブルーシール** （3/16、17聞き取り） **他施設** （3/20～3/31調査票設置）
調査方法	市広報誌にアンケート票を同封 • 市役所、市民体育館、まじゅんらんど、各自治会事務所に回収箱設置 • WEB回答 • 紙回答：133票 • WEB回答：395票	• インターネット調査会社 • WEBアンケート • 運動公園にアンケート票設置	てだこウォーク参加者に送付する資料に同封 • てだこウォーク会場に回収箱設置 • WEB回答	運動公園来場者に聞き取りアンケート	• 施設に調査票設置 宿泊施設 （ホテルアラクージュ） 文化施設 （浦添大公園エントランス） • 調査員による聞き取り 飲食店 （ブルーシールアイスクリーム）
対象	• **全世帯** 世帯数52,961世帯、10歳以上103,543人	• **隣接市町村** 那覇市、宜野湾市、西原町	• **県外/県内観光客（運動公園利用者）**		• **県外/県内観光客** （運動公園未利用者）
目標数と回答票	**目標数：500票** **回答数：528票** 内：市民**494**票、市外 **34**票	**目標数：300票** **回答数：343票** WEBアンケート **309**票	**目標数：400票** **回答数：791票** （内訳：てだこウオーク 16票　ヤクルトキャンプ 705票　観光施設 70票）		

（市外34票は、周辺市町村住民の回答に加えて集計・分析する）

② アンケート調査の設問及び設問の意図

設 問	県 民（市民、市民以外）	設問の意図	観光客（県外・県内）	設問の意図
基本属性	○	性別、年齢、居住地、家族構成を把握する。	○	性別、年齢、居住地を把握する。
利用頻度	○	利用者と未利用者に区分し、利用頻度を把握する。	—	—
交通手段	○	利用者の主な交通手段を把握する。未利用者からは公園利用を想定して回答を得る。	○	観光客の主な交通手段を把握する。
公園を知っているか	—	—	○	観光客の運動公園の情報の取得方法を把握する。
知ったきっかけ	—	—	○	
利用経験	—	—	○	利用者と未利用者を把握する。
利用回数	—	—	○	利用者の利用回数を把握する。
利用している理由	○	利用者の主な利用理由を把握する。	—	—
利用しない理由	○	未利用者の利用しない主な理由を把握する。	—	—
どのようなことをしたか（するか）	○	利用者の主な利用目的を把握する。	○	利用者の主な利用目的を把握する。
利用した施設	○	利用者の主に利用する施設を把握する。	○	利用者の主に利用する施設を把握する。
公園内にあれば利用しやすい施設	—	—	○	利用者の公園内施設のニーズを把握する。
公園の良い所	○	利用者・未利用者共に、当該公園で良いと感じているところを把握する。	—	—
公園の悪い所	○	利用者・未利用者共に、当該公園で悪いと感じているところを把握する。	—	—
どんな公園であれば利用したいか	○	利用者・未利用者共に、当該公園への主な利用ニーズについて把握する。	○	利用者・未利用者共に、当該公園への主な利用ニーズについて把握する。
公園の役割としての期待	○	利用者・未利用者共に、当該公園に期待する主な役割について把握する。	—	—
自由意見	○	市民・他市町民の再整備へのアイディア等を把握する。	○	観光客の再整備へのアイディア等を把握する。

※「○」：調査した事項　「－」：調査していない事項

③ 調査結果のまとめ

※各設問の回答数が多い上位３項目を記載しています

設問 ※複数回答	浦添市民		周辺市町村住民		観光客			まとめ
	利用者（463人）	未利用者（30人）	利用者（148人）	未利用者（195人）	利用者（県外）（581人）	利用者（県内）（138人）	未利用者（50人）	
①基本属性（性別・年齢・居住地・家族構成） 二世代（子）：子どもと同居 二世代（親）：親と同居	1. 40代 2. 30代 3. 50代	1. 30代 70代 2. 40代 3. 50代	1. 50代 2. 40代 20代 3. 30代	1. 20代 2. 50代 3. 40代	1. 40代 2. 30代 3. 50代	1. 50代 2. 40代 3. 20代	1. 20代 2. 10代 3. 30代	
	1. 二世代（子） 2. 夫婦のみ 3. 一人暮らし	1. 二世代（子） 2. 夫婦のみ 3. 一人暮らし	1. 二世代（子） 2. 一人暮らし 3. 二世代（親）	1. 二世代（子） 2. 一人暮らし 3. 二世代（親）				
②利用頻度	1. 年に1,2回 2. 月に1,2回 3. 週に1,2回	利用したことがない	1. 年に1,2回 2. 月に1,2回 3. 週に1,2回	利用したことがない	-	-	-	市民・他市町民は共に、利用頻度は少ない回答。
※③交通手段	1. 車（レンタカー含） 2. 徒歩 3. バイク	1. 車（レンタカー含） 2. 徒歩 3. バイク	1. 車（レンタカー含） 2. バス 3. 徒歩	1. 車（レンタカー含） 2. バス 3. 徒歩	1. 車（レンタカー含） 2. バス 3. モノレール	1. 車（レンタカー含） 2. 徒歩 3. バス	-	市民・他市町民・観光客は共に、車の来園が最も多い。利用者の殆どは車で来園。
※④知ったきっかけ	-	-	-	-	1. キャンプ関連 2. マスメディア 3. SNSでみて	1. キャンプ関連 2. いつもきている 3. たまたま	たまたま SNSでみた 町や市の広報 知っているが未利用	プロ野球キャンプ時の回答が最も多かったため、観光客の情報収集方法はキャンプ関連が多い。
※⑤利用している理由	1. 近い 2. 費用がかからない 3. スポーツ施設	-	1. 費用がかからない 2. 広い 3. 緑が多い	-	-	-	-	近い、費用がかからないことが、利用する主な理由となっている。
※⑥利用しない理由	-	1. 用事がない 2. 家から遠い スポーツをしない 3. 他公園を利用	-	1. 家から遠い 2. 用事がない 3. スポーツをしない	-	-	-	用事がなく、家から遠い、スポーツをしないことが、利用しない主な利用となっている。
※⑦どのようなことをしたか（するか）	1. 運動試合に参加 2. 散歩をした 3. 催し物に参加	-	1. 散歩をした 2. 子供と遊んだ 3. 運動試合に参加		-	-	-	運動・スポーツ、散歩が利用する主な目的となっている。
※⑧利用した施設	1. 園路（散歩等） 2. 陸上競技場 3. 立体駐車場	-	1. 園路（散歩等） 2. トイレ 3. 休憩スペース	-	1. 市民球場 2. 売店 3. トイレ	1. 市民球場 2. 売店 3. トイレ	-	市民・他市町民は主に散歩等で園路を利用。観光客はキャンプ時の回答が多いため、市民球場の利用。
※⑨公園内にあれば利用しやすい施設	-	-	-	-	1. 飲食店 2. 売店 3. ホテル・宿泊所	1. 飲食店 2. 子供の遊び場 3. ホテル・宿泊所	-	観光客は公園内への飲食店の設置を最も多く回答。

③ 調査結果のまとめ

※各設問の回答数が多い上位３項目を記載しています

設問 ※複数回答	浦添市民		周辺市町村住民		観光客			まとめ
	利用者（463人）	未利用者（30人）	利用者（148人）	未利用者（195人）	利用者（県外）（581人）	利用者（県内）（138人）	未利用者（50人）	
※⑩公園の良い所	1. 緑や花が多い 2. 運動スポーツ利用 3. ゴミが少ない	1. 緑や花が多い 2. イベントの実施 プロスポーツ観戦 3. 運動スポーツ利用	1. 緑や花が多い 2. 駐車場が多い 3. 散歩や憩の場	1. 駐車場が多い 2. 日陰木陰が多い 3. 子供が楽しめる	-	-	-	市民・他市町民の利用者は、緑や花が多いことを良いところとして最も多く回答。市民未利用者も同様な回答。
※⑪公園の悪い所	1. 駐車場不足 2. 運動施設が古い 3. 売店不足	1. 駐車場不足 2. 売店不足 運動施設が古い 3. トイレ・水飲み場不足	1. 駐車場不足 2. 公共交通でアクセスしにくい 3. 売店不足	1. 公共交通でアクセスしにくい 2. 駐車場不足 3. 売店不足	-	-	-	市民・他市町民の利用者は、駐車場の不足を悪いところとして最も多く回答。市民未利用者も同様な回答。
※⑫どんな公園であれば利用したいか	1. スポーツ健康づくり 2. 緑や花がきれい 3. 子どもを安心して遊ばせられる公園	1. ゆっくり休める 2. スポーツ健康づくり 街なかにある身近 3. 緑や花がきれい カフェやレストランで食事が出来る	1. ゆっくり休める 2. 緑や花がきれい 3. 子どもを安心して遊ばせられる公園	1. ゆっくり休める 2. 街なかにある身近 3. 緑や花がきれい	1. 試合やキャンプを見ることができる 2. 食事ができる 3. 緑や花がきれい	1. 試合やキャンプを見ることができる 2. 子どもを安心して遊ばせられる公園 3. 楽しい遊具がある	1. 食事ができる 2. スポーツ健康づくり 緑や花がきれい 3. 犬と散歩できる	市民の利用者はスポーツ・健康づく・行事を楽しむニーズが多く、市民未利用者や周辺市町民はゆっくり休める利用のニーズが多い。観光客は試合やキャンプを見るが多い。
※⑬公園の役割としての期待	1. 運動スポーツ健康づくり 2. 災害時に避難 3. 快適で美しいまちづくりの拠点 子どもの遊び空間	1. 運動スポーツ健康づくり 2. 災害時に避難 3. 快適で美しいまちづくりの拠点	1. 子どもの遊び空間 2. やすらぎ・くつろぎ 3. 運動スポーツ健康づくり	1. やすらぎ・くつろぎ 2. 花やきれいな景色を楽しめる場 3. 子どもの遊び空間	-	-	-	市民は運動・スポーツ・健康づくりの場となることが望まれている。他市町民は子どもの遊び空間、やすらぎ・くつろぎの場となることが望まれている。
⑭自由意見	駐車場についての意見が最も多い	子どもの遊び場についての意見が多い	子どもの遊び場についての意見が多い	駐車場についての意見が最も多い	公園までのアクセスについての意見が多い	駐車場とトイレについての意見が多い	-	市民と観光客共に駐車場不足の意見が多い。
ニーズ等	市民利用者のニーズは、**駐車場不足、運動施設老朽化、売店不足**等である。 公園への要望は、**運動・スポーツ・健康づくりの場**の整備が求められている。 期待する公園の役割も同様である。	市民未利用者のニーズは、**駐車場不足、運動施設老朽化、売店不足、トイレ不足**等である。 公園への要望は、**ゆっくり休める場**の整備が求められている。 期待する公園の役割は、**運動・スポーツ・健康づくりの場**の整備である。	他市町民利用者のニーズは、**駐車場不足、公共交通のアクセス性、売店不足**等である。 公園への要望は、**ゆっくり休める場**の整備が求められている。 期待する公園の役割は、**子どもの遊び空間**の整備である。	他市町民未利用者のニーズは、**公共交通のアクセス性、駐車場不足、売店不足**等である。 公園への要望は、**ゆっくり休める場**の整備が求められている。 期待する公園の役割は、**やすらぎ・くつろぎ場の**整備である。	県外観光客利用者のニーズは、**飲食店、売店、ホテル**等の整備である。 公園への要望は、**試合やキャンプを見ること**への整備が求められている。	県内観光客利用者のニーズは、**飲食店、子どもの遊び場、ホテル等の整備である。** 公園への要望は、**試合やキャンプを見ること**への整備が求められている。	観光客未利用者の公園への要望は、**食事ができる**ことへの整備が求められている。	

④　市民の回答

①駐車場について
- 駐車台数が少ないので増やしてほしい
- 駐車場を利用する人のマナー改善
- 駐車場の有料化

②アクセス・公共交通機関について
- 公共交通を利用したアクセスが悪い
- 公園内にシャトルバスを整備して、イベント時に運行してほしい
- シェアサイクルの数を増やしてほしい

③園路について
- 園路の高低差があるので移動が難しい
- ジョギングコース・ウオーキングコースみたいにコースの道分けを行ってほしい
- クッション性のある園路にしたり、照明を明るくするなど園路の整備を行ってほしい

④陸上競技場について
- サッカーの試合ができるような整備を行ってほしい
- 競技場内に洋式トイレを増やしてほしい

⑤体育館について
- 観戦場所が狭いので観客席の整備を行ってほしい
- 運動器具の老朽化、数、種類など
- 施設が利用しづらい

⑥バリアフリー・福祉について
- 車いす利用者やベビーカーの利便性を考慮してほしい
- エレベーターを設置するなど、バリアフリー設備の導入を検討してほしい

⑦自然環境について
- 公園内の緑や花についての整備をしてほしい
- みどりが多いのがとても良いので、木陰で休めるようなスペースがあれば嬉しい
- 池の安全面に配慮してほしい

⑧市民球場について
- 球場内のトイレの整備を行ってほしい
- ナイター観戦がしたいので整備してほしい

⑨売店・食事処について
- 日頃利用できるような売店がほしい
- コンビニが公園内にあるととても便利
- スターバックスのようなカフェやレストランを設置してほしい

⑩トイレ・授乳室について
- 公園内のトイレの増設
- 綺麗で安心して利用することができるトイレにしてほしい
- 授乳室やおむつ替えできるスペースがほしい

⑪まじゅんらんどについて
- プールをもっと色んな人が利用できるような大きさにしてほしい
- 計画が進むとまじゅんらんどの利用が難しくなる

⑫休憩所について
- 自然と対応できるような休憩所を整備してほしい
- 公園内に座れるところが少ないので、ベンチなど増設してほしい
- 公園の全面禁煙を求める

⑬運営・管理について
- 浦添市民が快適に利用できる公園にしてほしい
- ピクニックやアウトドアスポーツなど、日頃できないようなことが出来るような公園にしてほしい
- 施設利用者に対して、運動着や靴などの貸し出しを行ってほしい
- 防犯カメラの設置

⑭新施設について
- 25mのプールの整備
- 犬が遊べるような施設、ドッグラン
- 子供たちが遊べるような遊具の整備

⑮観光・交流について
- 観光客誘致より地域住民の利便性を考えた整備を行ってほしい
- 姉妹都市やプロスポーツ選手との交流ができる公園にする

⑯アーバンスポーツについて
- スケートボードパークの充実・拡充
- バスケリングを新設してほしい
- 他の市町村にはないスポーツによる魅力づくりを行う必要がある

⑰イベント・催し物について
- 市民が参加出来るようなイベントを増やしてほしい
- プロスポーツやコンサートなどのイベント開催
- 老若男女問わず参加できるようなイベントを増やしてほしい

⑤　観光客の回答

①駐車場について
- 駐車台数が少ないので増やしてほしい
- 駐車場内の動線を分かりやすくしてほしい
- 障がい者用の駐車スペースの確保

②アクセス・公共交通機関について
- 公園までのアクセスが悪いので良くしてほしい
- モノレールやバス停から公園までの周知
- シャトルバスを出して欲しい
- タクシー乗り場が欲しい

③園路について
- 坂が多くて移動が大変
- 段差が多くてつまづく

④陸上競技場について
- トイレを増やしてほしい
- キャンプ時に選手との交流が出来る

⑤市民球場について
- 球場内のトイレの整備を行ってほしい
- 球場内の動線を決める

⑥バリアフリー・福祉について
- 車いす利用者が利用しやすい環境にしてほしい
- エレベーターやエスカレーターを設置するなど、バリアフリー設備の導入を検討してほしい

⑦売店・食事処について
- スターバックス等のカフェやレストランが欲しい
- 公園内にコンビニが欲しい
- 公園周辺に店が欲しい
- 自動販売機が少ない

⑧自然環境について
- 沖縄ならではの緑や花が欲しい
- ゴミ箱が少ないので設置してほしい

⑨トイレ・授乳室について
- 公園内のトイレの増設
- 綺麗なトイレにしてほしい
- 授乳室やおむつ替えできるスペースがほしい

⑩休憩所について
- 暑いので屋根付きの休憩所が欲しい
- 公園内に座れるところが少ないので、ベンチなど増設してほしい
- 雨や風が強いので、凌げるような休憩所がほしい

⑪運営・管理について
- 公園内でのイベント等はもっと周知した方がいい
- 公園内の案内板や標識が少ない
- 荷物を預ける場所がほしい

⑫観光・交流について
- キャンプ時にプロスポーツ選手との交流ができる公園にする
- キャンプを活かした交流を増やす

⑬新施設について
- 子供たちが遊べるような遊具の整備

① ビッグデータ分析の概要

- 携帯電話の位置情報データなどのビッグデータを活用し、観光客や住民の流動を可視化・分析することにより、各種政策立案や地域の課題解決が可能になることが期待されています。
- 今回、携帯電話の位置情報から得られるデータ（人流データ）を活用して、利用者の滞留状況や移動状況の把握を行います。

データの概要

- 人流データ（Agoopポイント流動型データ）を利用
- 平時とイベント時（主要イベントの開催時期）を含む４ヶ月分のデータ
  - ヤクルトキャンプ（約1ヶ月）のある2月、てだこ祭りのある10月。
  - 10月については祭りの期間以外は平時のデータとして扱う
- 2019年12月以降コロナによる影響（コロナ禍前のデータは2019年12月以前）
- データは位置情報をもとに県民と県外観光客の属性が区分されている

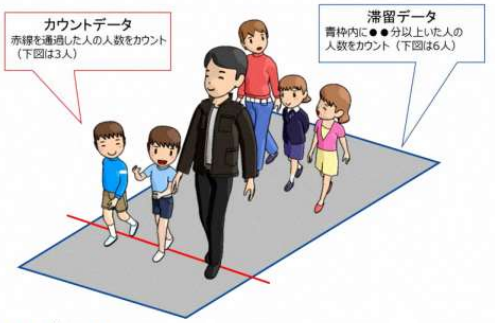
分析について

① 公園内の滞留箇所の把握
公園内の滞留の状況を把握する
② 公園内の移動の把握
公園利用者の園内の動線を可視化する
③ 浦添運動公園へのアクセスの把握（どこから）
公園利用者がどこから来ているのか（出発地）を把握

人流データを活用した集計方法等

カウントデータ
- ある地点を通過する人数を把握した、いわゆる通行量データ。
- 時間別、移動方向別や属性別に取得・算出される場合もあります。

滞留データ
- ある地点や特定空間内に一定時間留まっている人数を把握したデータで、密度や混雑を示す場合に利用されます。
- 人流カウントデータと同様、時間別、属性別に取得・算出される場合があります。



移動軌跡データ
- 人の移動軌跡を把握したデータ。
- 来訪者の周遊ルートや店舗での来店分析や観光地における周遊ルートなど人が移動したルートを示す場合に利用されます。

出典：国土交通省「地域課題解決のための人流データ利活用の手引き」（R4.3.31）

②　現場調査による現状整理

国道330号沿いの緑地空間

国道330号からの園路

陸上競技場周辺の
緑地空間

メインエントランス
及び園路

メインエントランス横の
オープンスペース

市民体育館前の
オープンスペース

売店施設

スケートボードパーク

高台までの階段

遊具広場

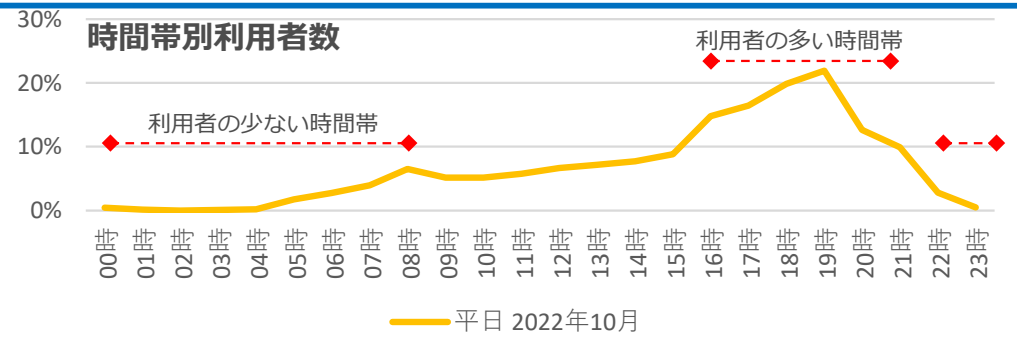
道路沿いの
オープンスペース

③　ビッグデータ分析のまとめ

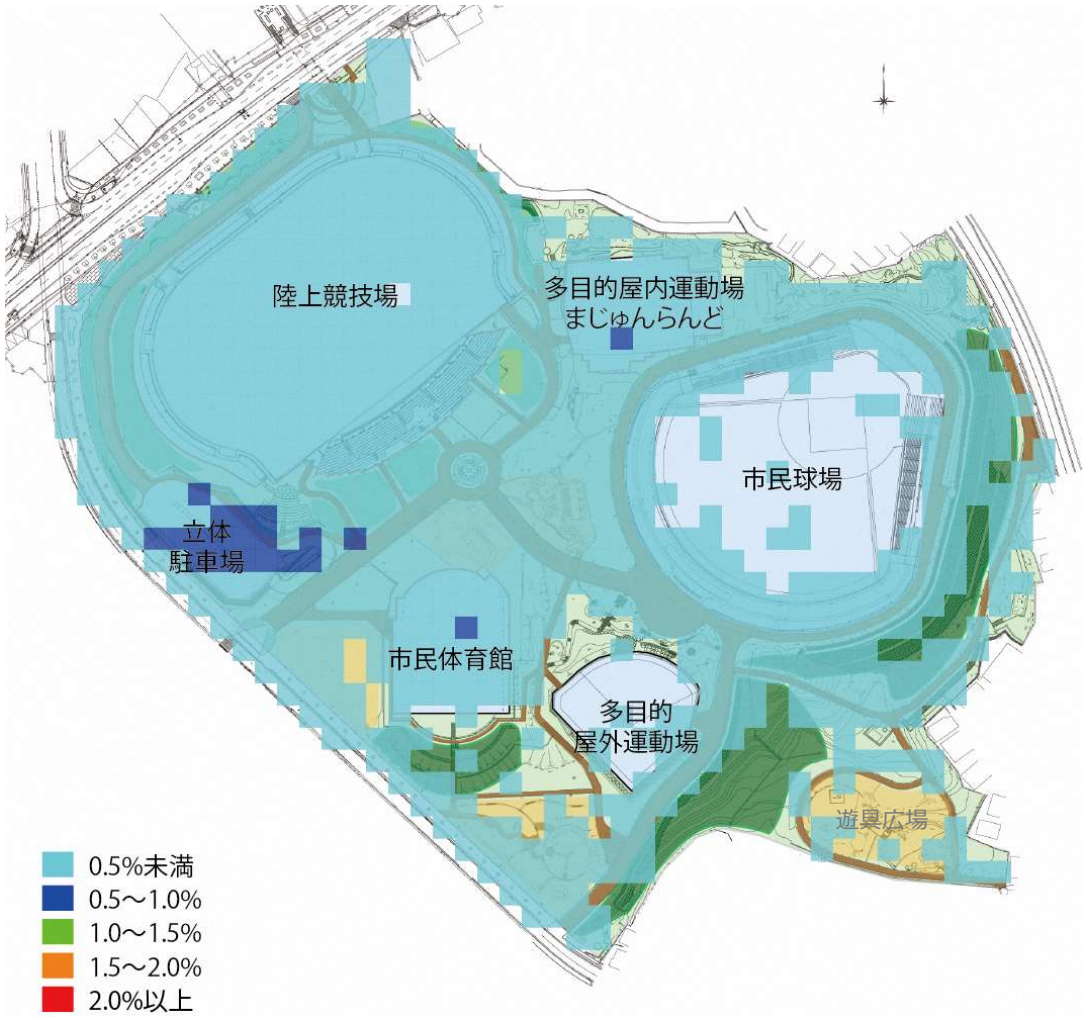
年月	平日 休日	滞留・移動		アクセス
		利用者の多い時間帯	利用者の少ない時間帯	
2022年10月 （平時）	平日	• 夕方の時間帯で利用者が最大 • 施設や園路など、公園全体で利用 • 利用の少ないオープンスペース有	• 夜間から早朝の時間帯 • 施設周辺の園路等で利用	• 県民のアクセスは、平日、休日共に、那覇市、宜野湾市、西原町等の周辺市町村など、広域からとなっている。 • 県外観光客のアクセスは、那覇市など、特定エリアからとなっている。
	休日	• 夕方の時間帯で利用者が最大 • 施設や園路など、公園全体で利用 • 利用の少ないオープンスペース有 • 平日より、午前・昼間の利用が多い	• 夜間から早朝の時間帯 • 施設周辺の園路等で利用	
2022年10月 （イベント時： てだこ祭り）	休日	• 午後から利用者が増加、19時台で最大 • 露店のある中央園路等で滞留 • 平時に利用の少ないオープンスペースでの滞留が見られる	• 夜間から早朝の時間帯 • 施設周辺の園路等で利用	• 県民のアクセスは、10月（平時）より、中部地域からが多い。 • 県外観光客のアクセスは、那覇市、宜野湾市等からが多い。
2022年2月 （イベント時： ヤクルト キャンプ）	平日	• 平時より、午前の利用者が多い • 球場周辺やイベント広場となる既存市民体育館前での滞留が見られる	• 夜間から早朝の時間帯 • 施設周辺の園路等で利用	• 県民のアクセスは、10月（平時）同様、周辺市町村からが多い • 県外観光客のアクセスは、10月（平時）より、広域からとなっている。
	休日	• 9-13時台で利用者が最も多い • 球場周辺やイベント広場となる既存市民体育館前での滞留が見られる	• 夜間から早朝の時間帯 • 施設周辺の園路等で利用	
まとめ		• 平時は、立体駐車場を除き、滞留・移動が特化している箇所はない。しかし、イベント時は、露店の設置等で、中央園路や既存市民体育館前での滞留・移動が確認される。 • 平時とイベント時共に、利用者の多い時間帯でも、利用の少ないオープンスペース（遊具広場）がある。 • 立体駐車場での滞留・移動が確認されるため、アンケート結果と同様、車での来園が想定される。	• 夜間から早朝の時間帯は、平時とイベント時共に、利用者が少ない。 • 利用者が少ない時間帯でも、陸上競技場や園路での滞留・移動が確認されることから、散歩やジョギング等の利用が想定される。 • 立体駐車場での滞留・移動が確認されるため、アンケート結果と同様、車での来園が想定される。	• 県内の利用者は、本市を中心に周辺市町村（運動公園を中心に半径２km範囲）からのアクセスが多い。 • 県外の利用者は、主に那覇市や宜野湾市からのアクセスが多い。一方、プロ野球キャンプ時は、北部地域からのアクセスも見られ、より広域的となっている。（他球団キャンプからの来園など、県外観光客の流動が想定される）

④ 利用者の滞留・移動（2022年10月（平日））

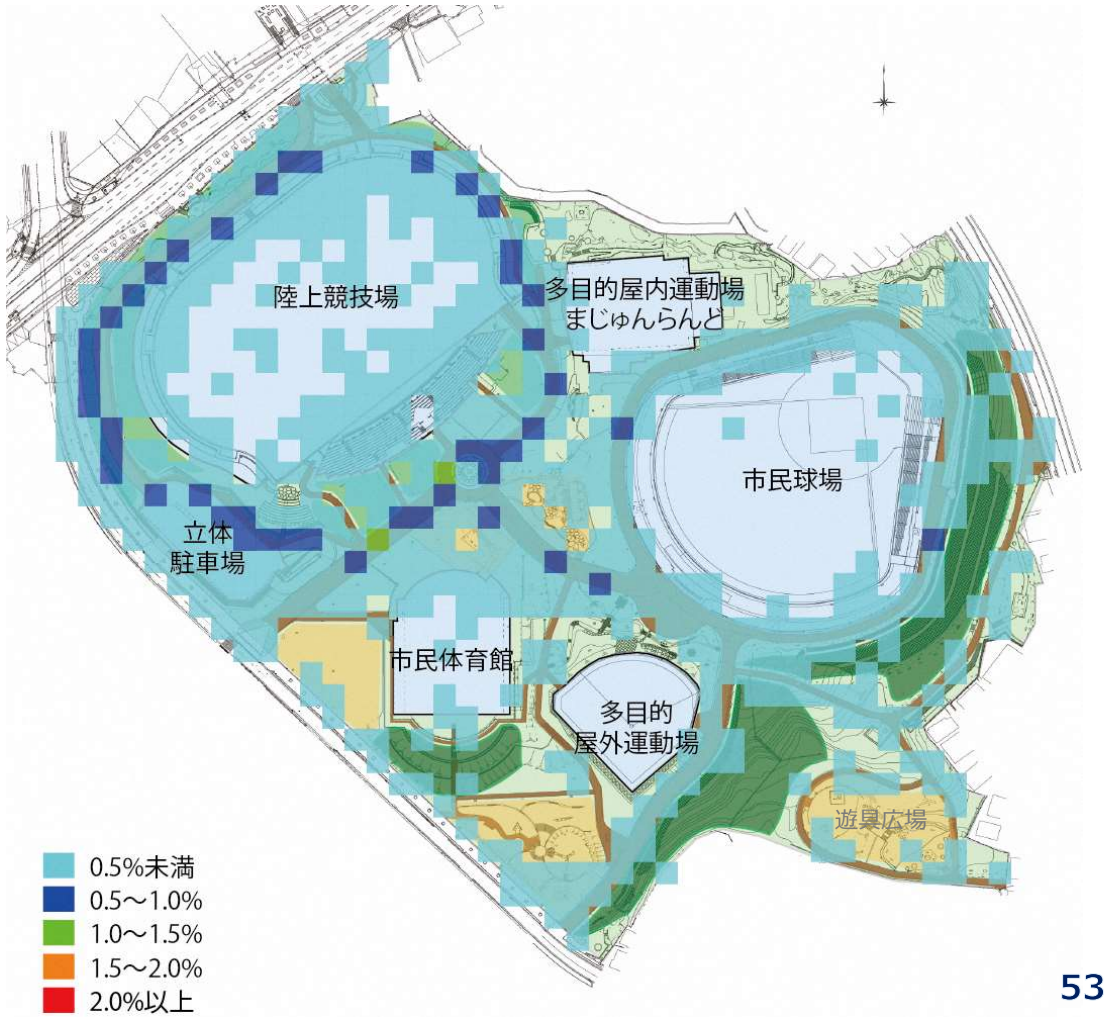
- 利用者は15時から増加し19時で最大となる
- 施設や園路など公園全体で利用されている
- 利用の少ないオープンスペースが一部ある



利用者の多い時間帯（16-21時）

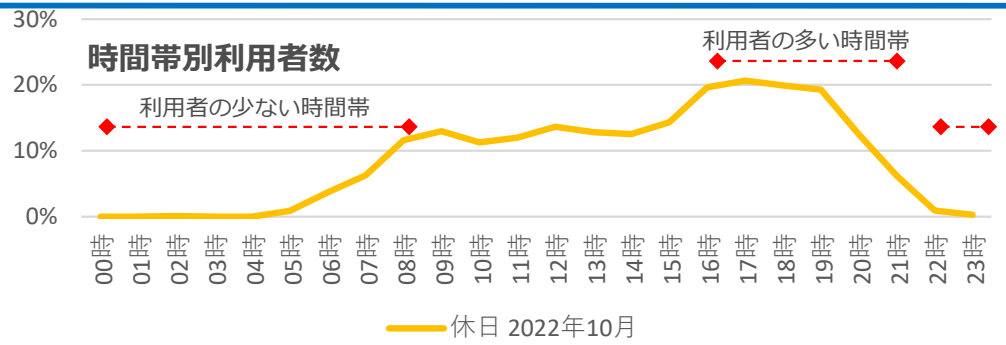


利用者の少ない時間帯（22-8時）

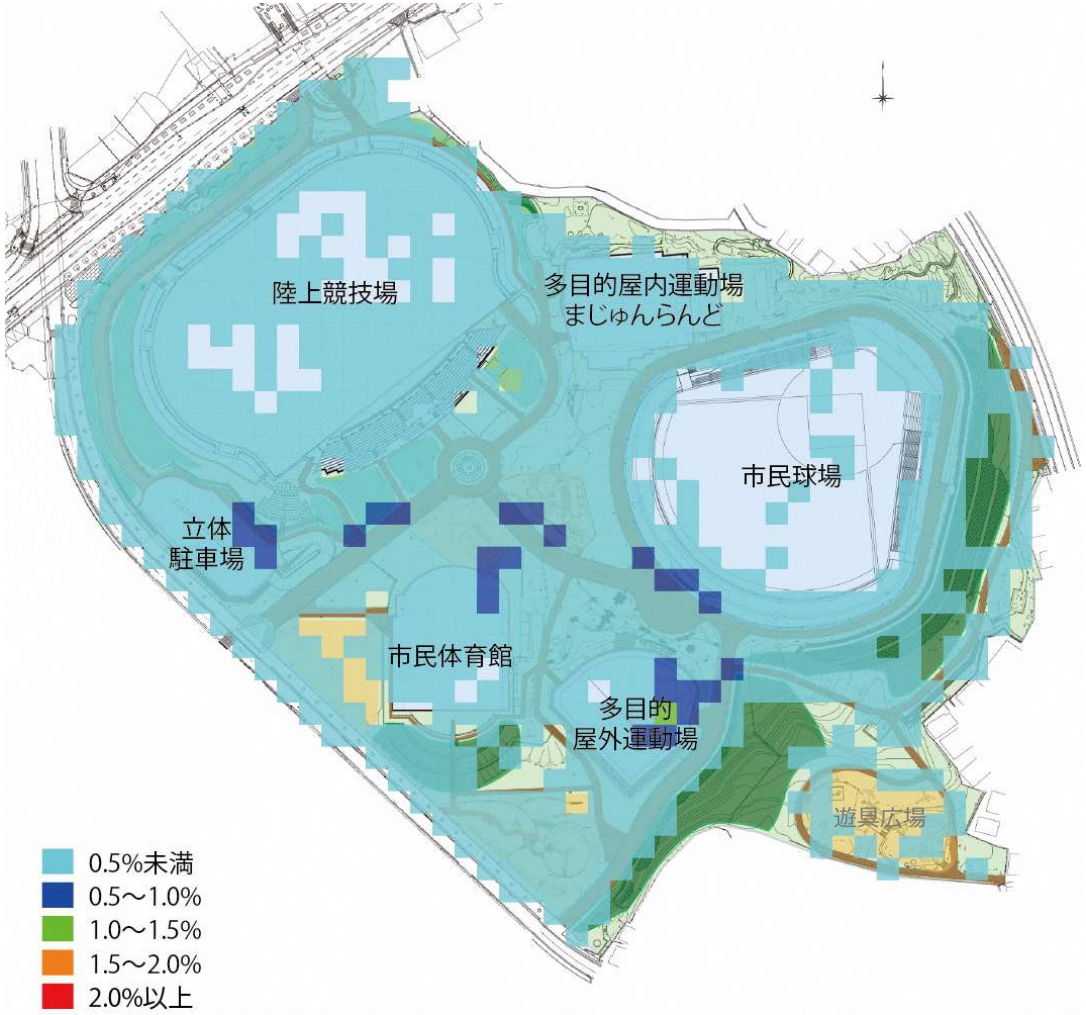


④ 利用者の滞留・移動（2022年10月（休日））

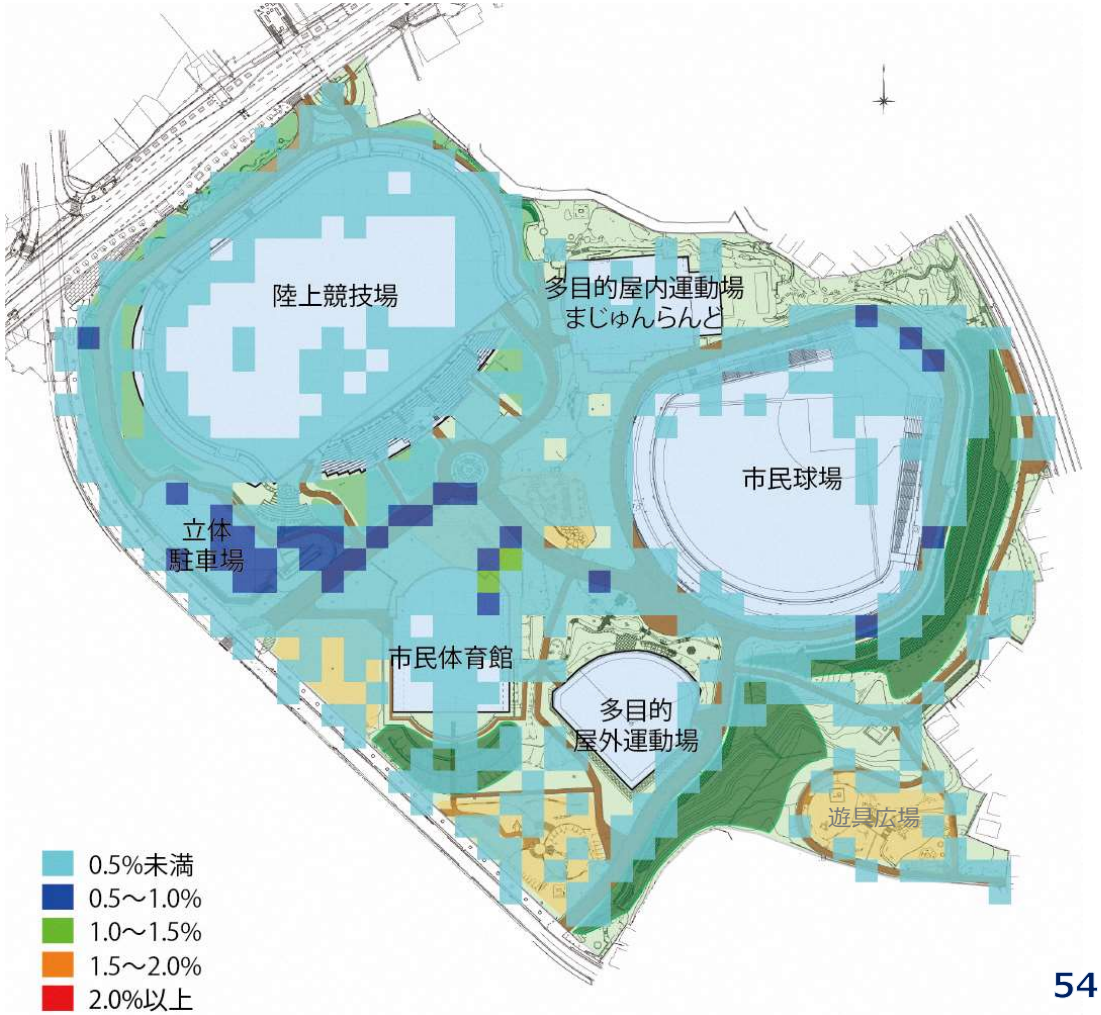
- 夕方の時間帯で利用者が最大
- 平日と比較して午前、昼間の時間帯の利用が多い
- 施設や園路など公園全体で利用されている
- 利用の少ないオープンスペースが一部ある



利用者の多い時間帯（16-21時）

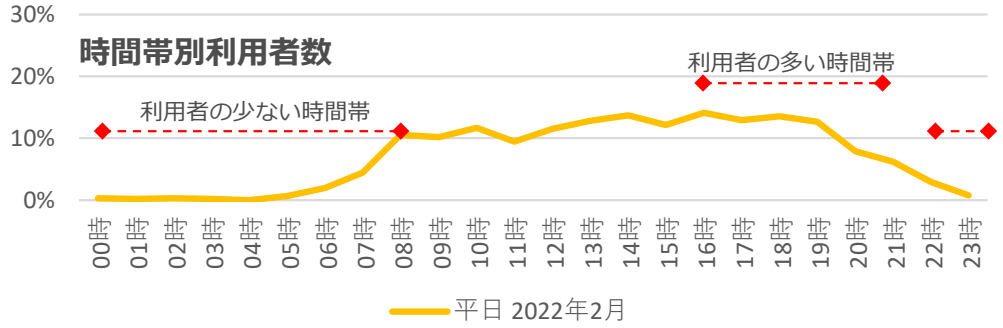


利用者の少ない時間帯（22-8時）

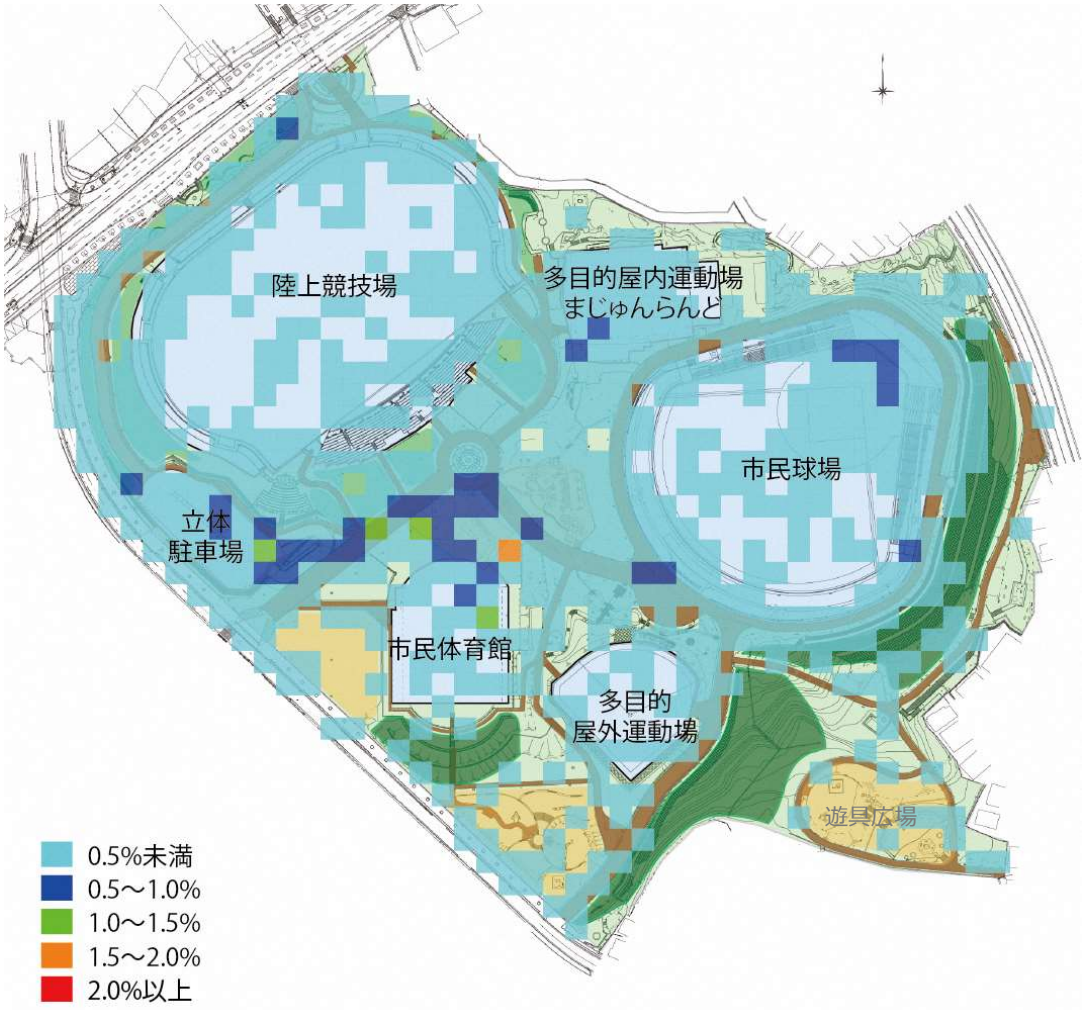


④　利用者の滞留・移動（2022年２月（平日））

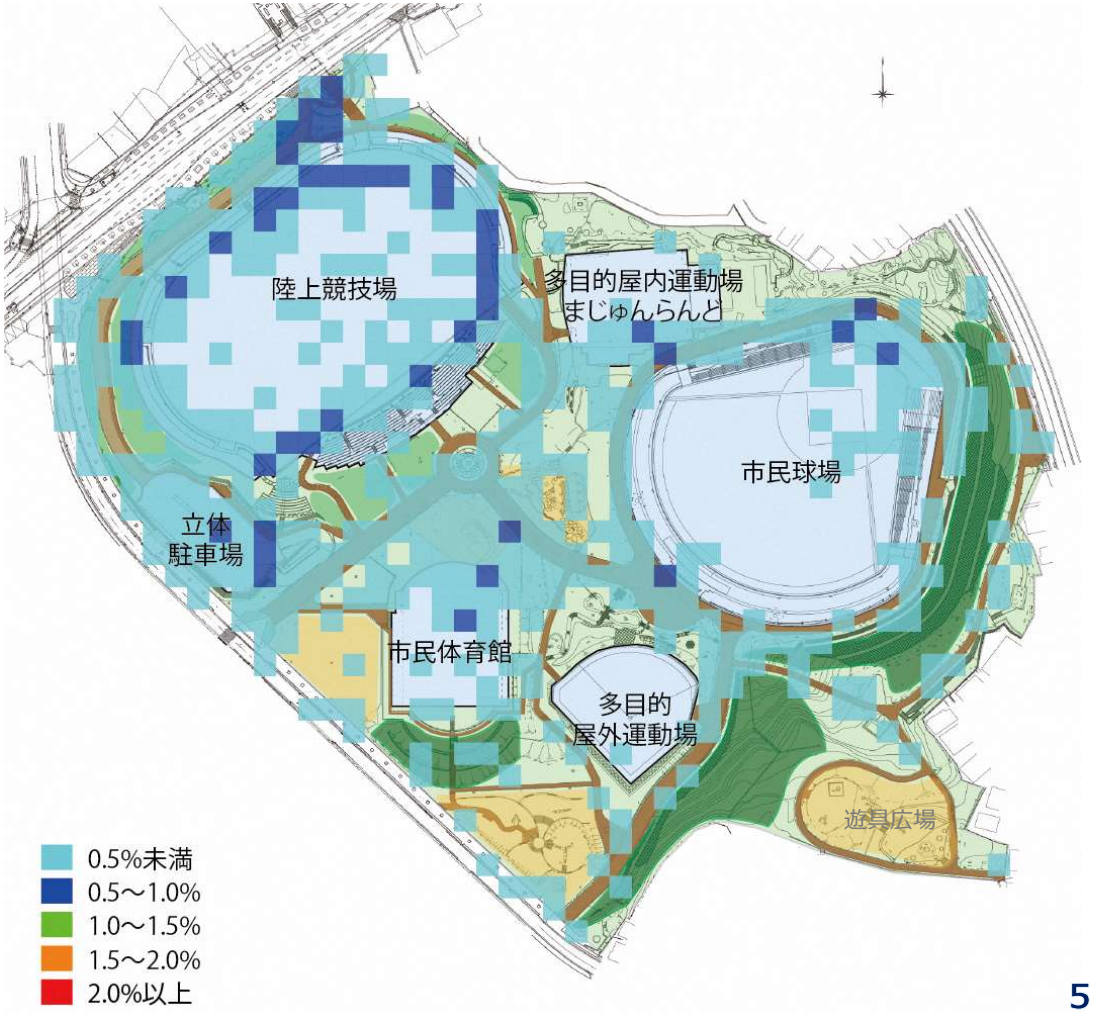
- 平時と比較して、午前の利用者が多い
- 球場周辺や体育館前のオープンスペースで滞留が多い



利用者の多い時間帯（ 16-21時）

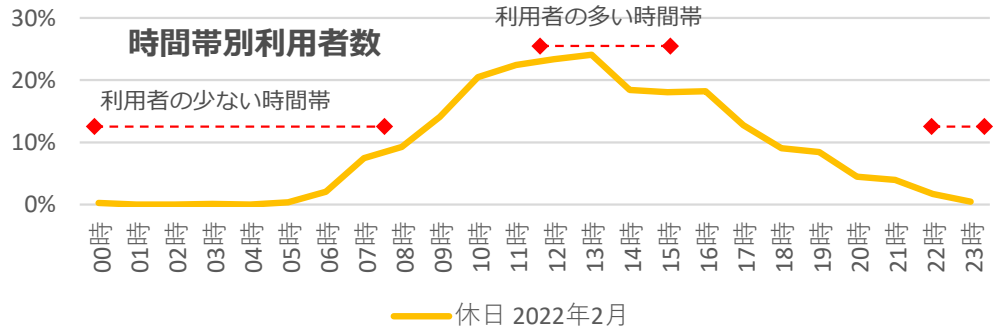


利用者の少ない時間帯（22-8時）

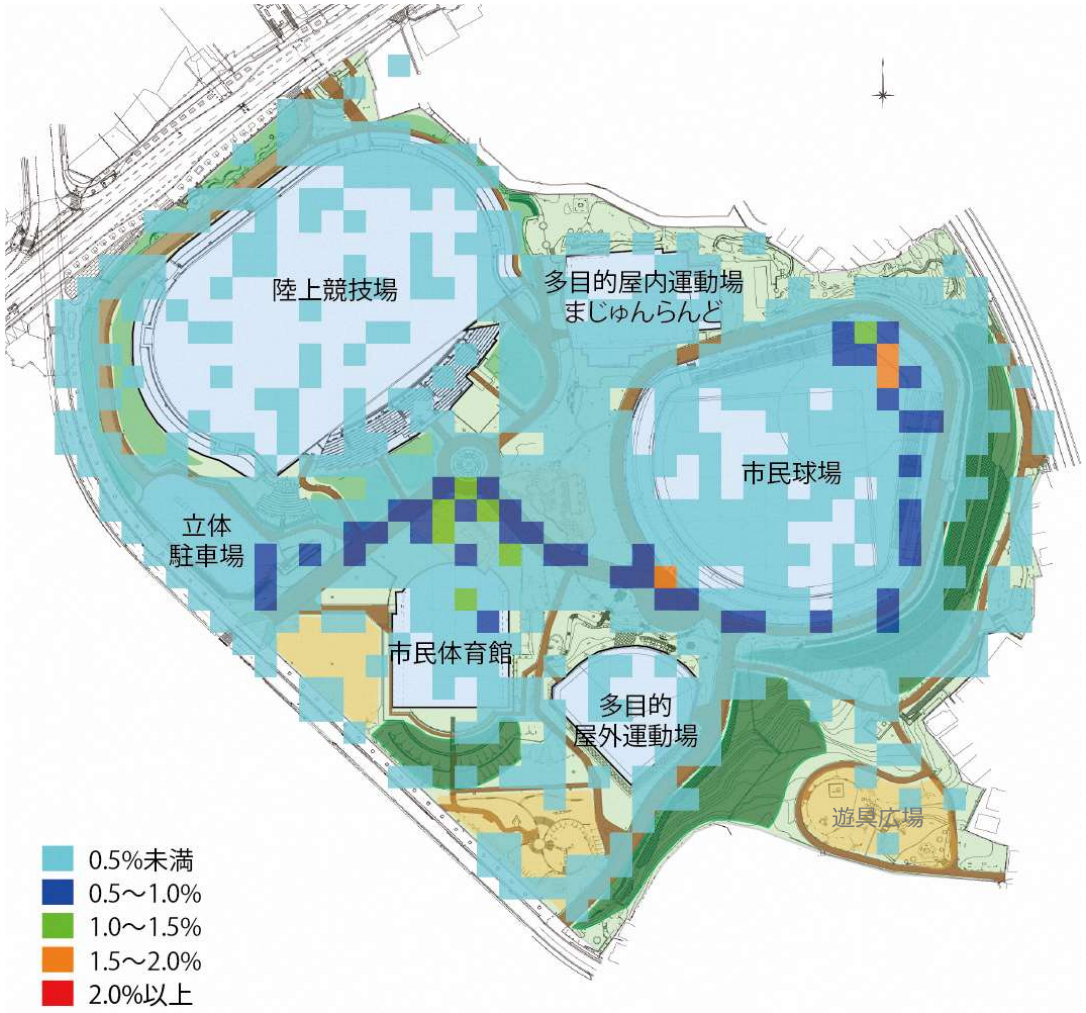


④ 利用者の滞留・移動（2022年２月（休日））

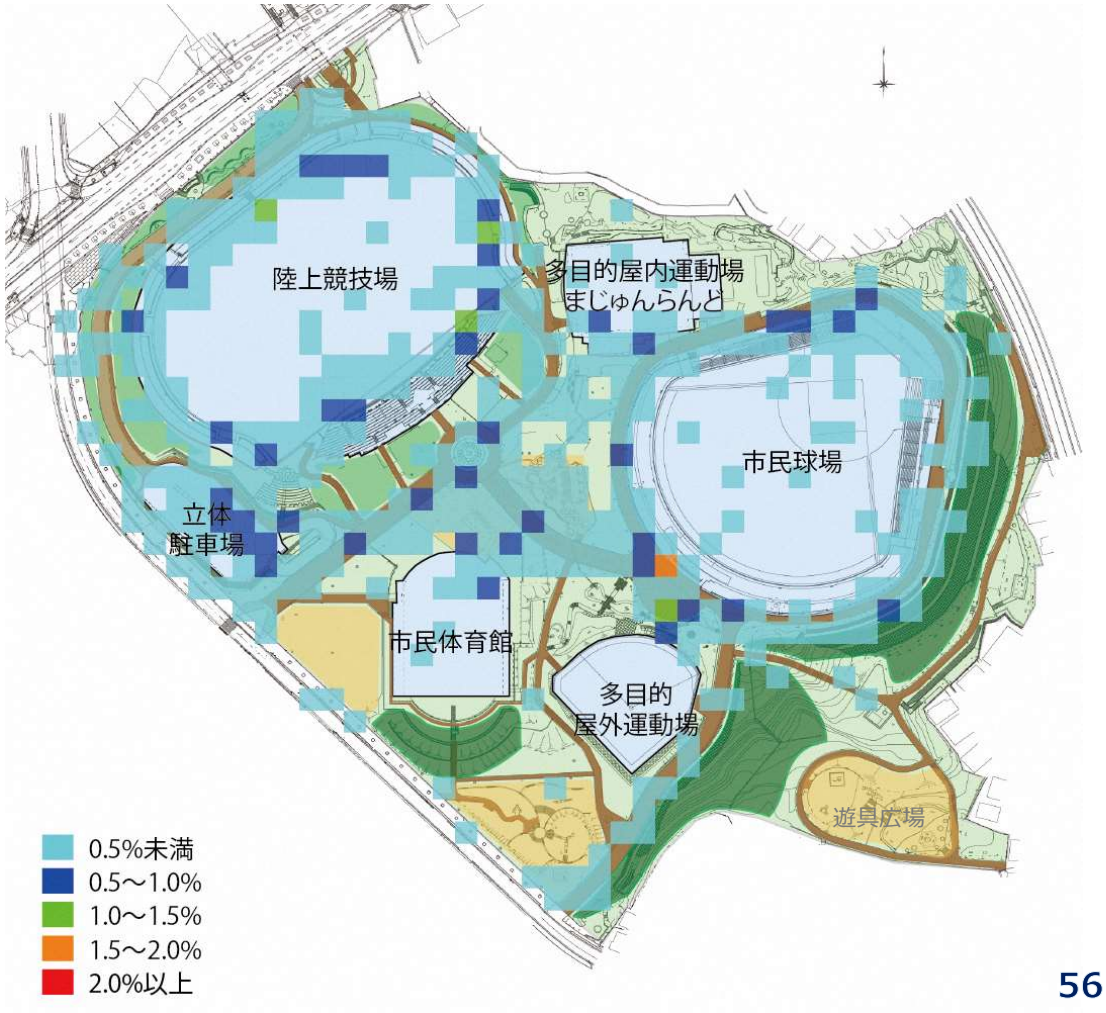
- 9-13時台で利用者が多い
- 球場周辺や体育館前のオープンスペースで滞留が多い



利用者の多い時間帯（ 12-15時）



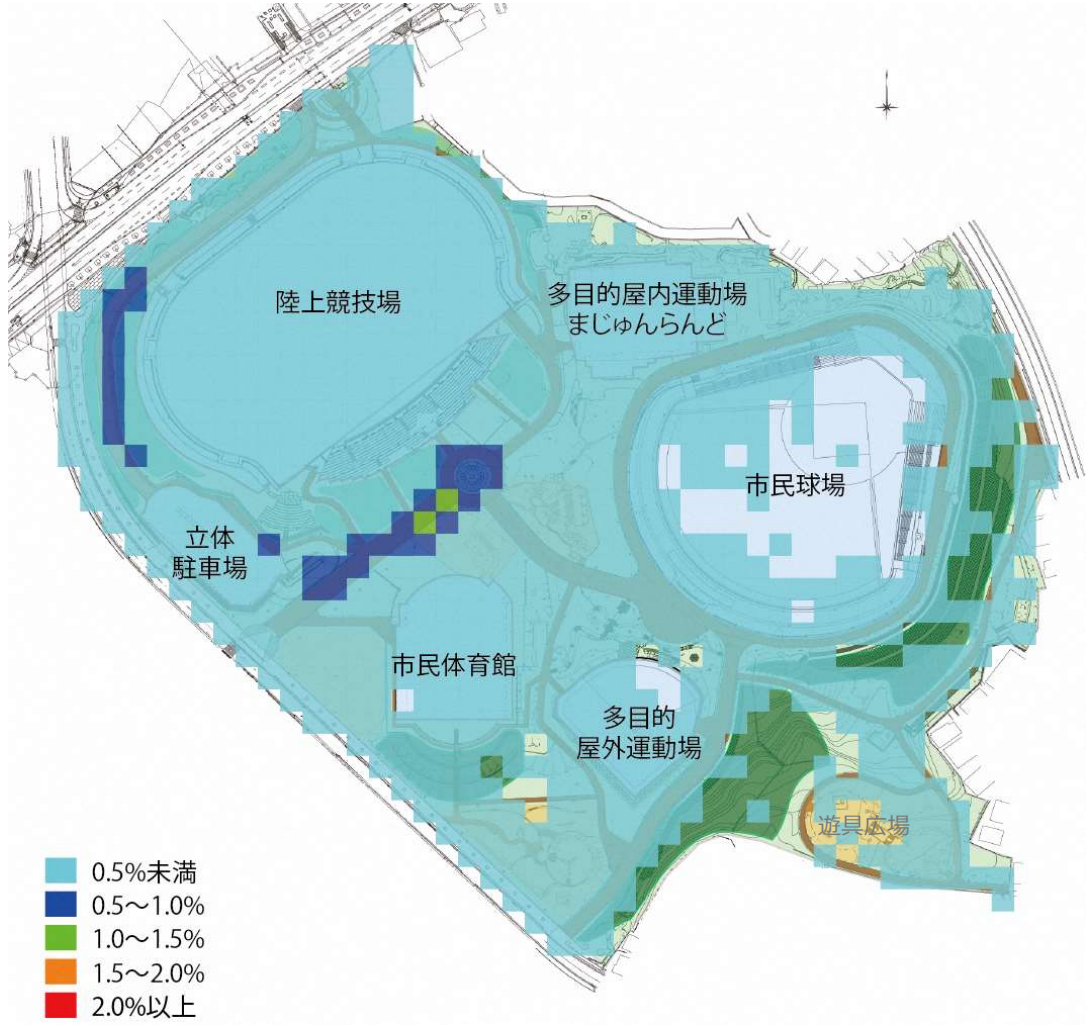
利用者の少ない時間帯（22-8時）



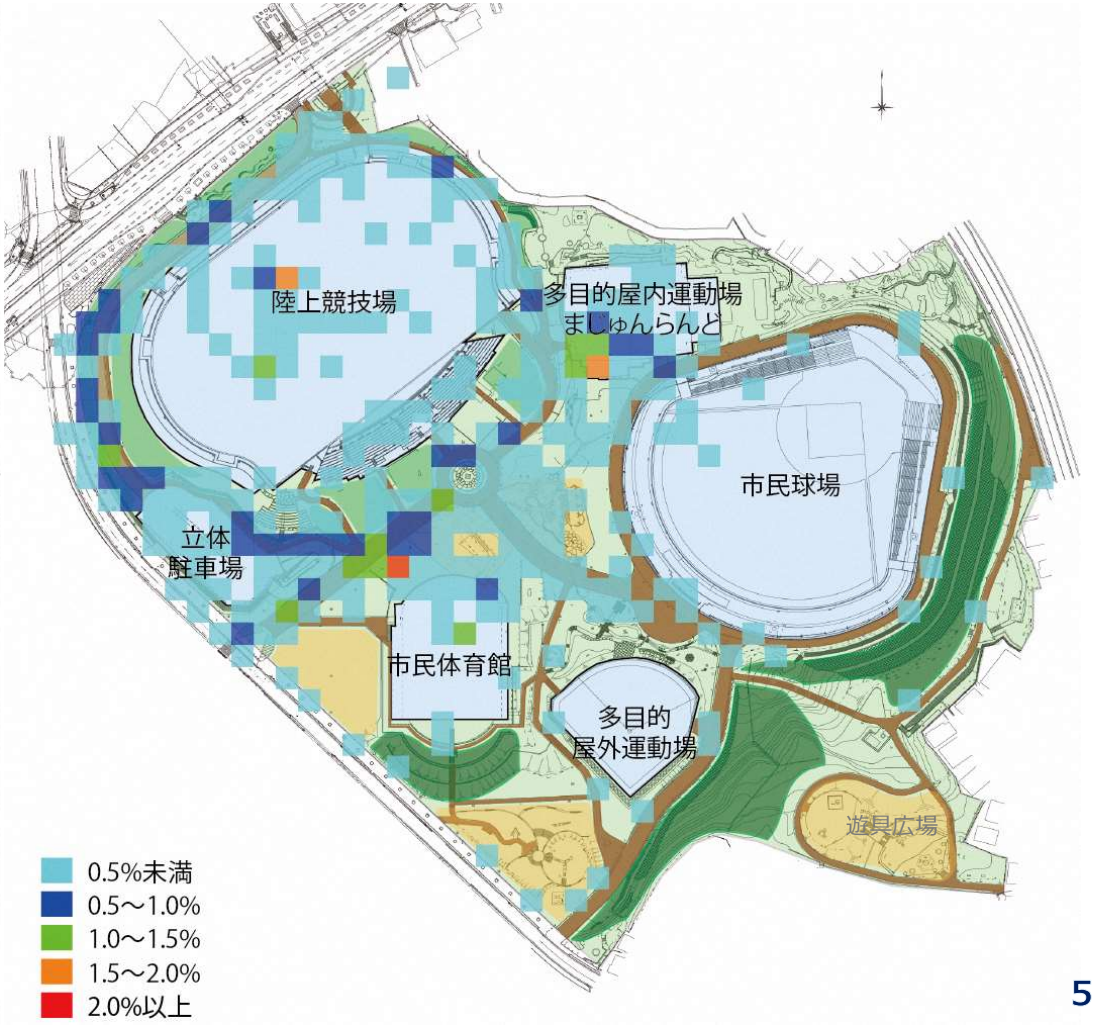
④　利用者の滞留・移動（2022年10月（てだこ祭り 10/29，30））

- 午後から利用者が増加し、19時台で最大
- 露店のある中央園路等で滞留
- 平時に利用の少ないオープンスペースでの滞留が見られる

利用者の多い時間帯（ 16-21時）



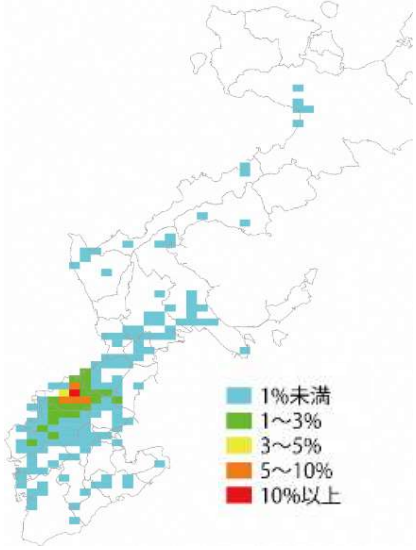
利用者の少ない時間帯（ 9-11時）



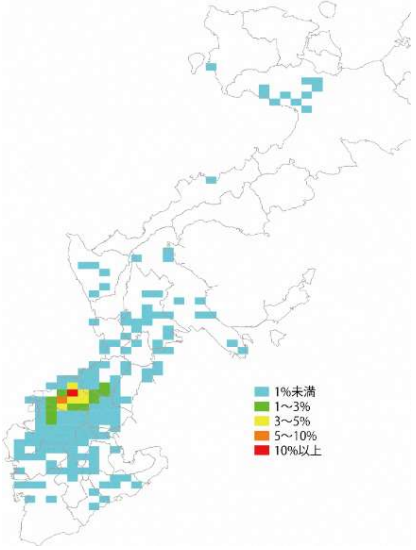
⑤　利用者のアクセス（利用者がどこから移動してきたかを示す）

2022年10月（県内）

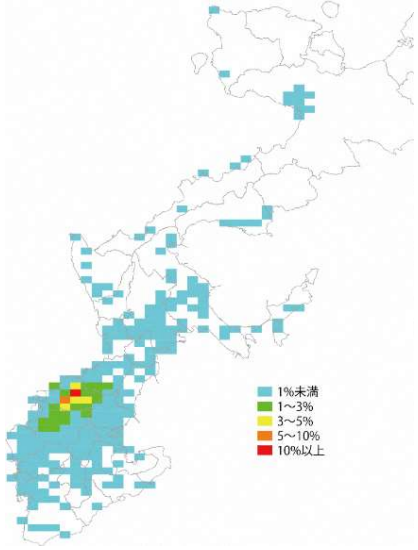
平日



休日

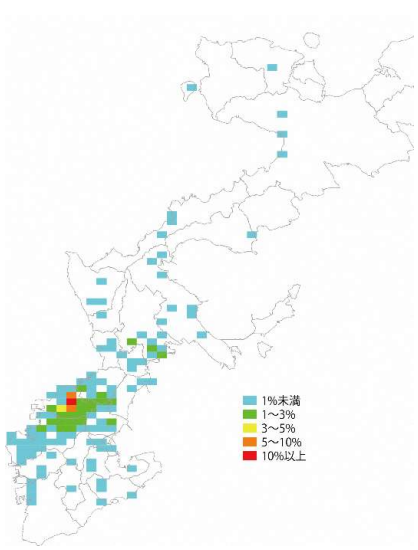


てだこ祭り（10/29，30）

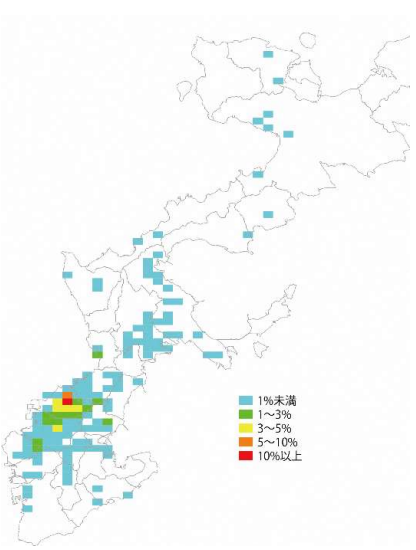


2022年２月（県内）

平日

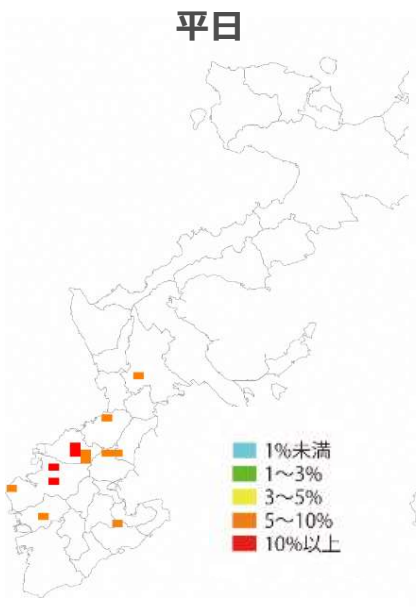


休日

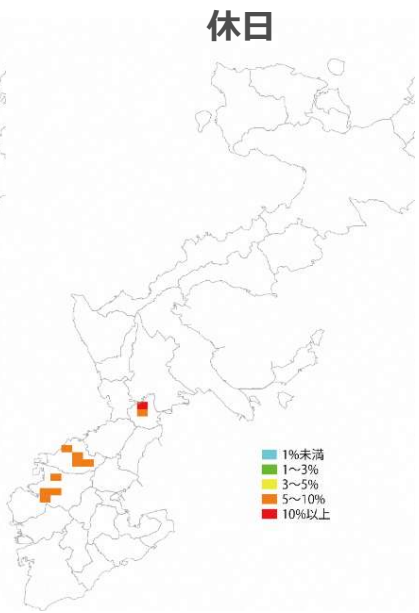


2022年10月（県外）

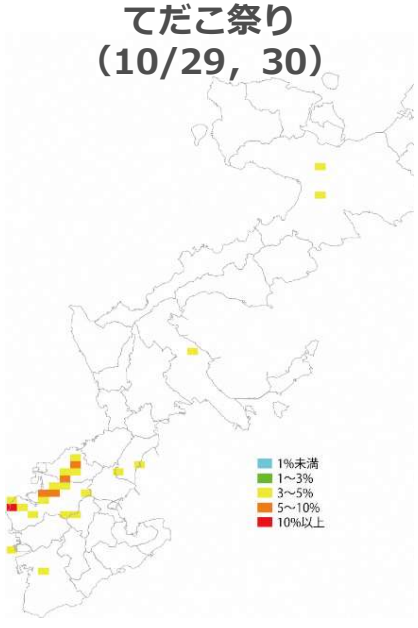
平日



休日

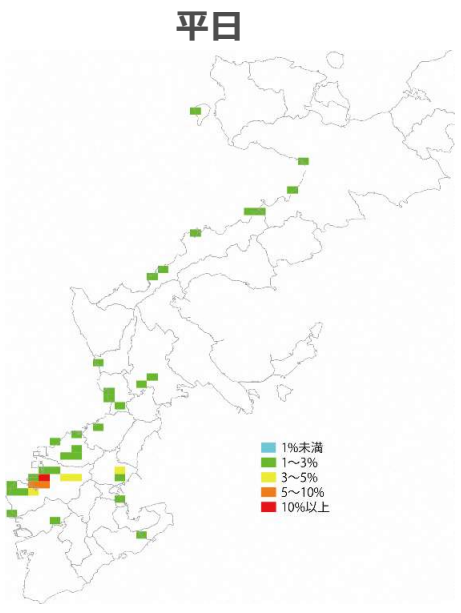


てだこ祭り（10/29，30）

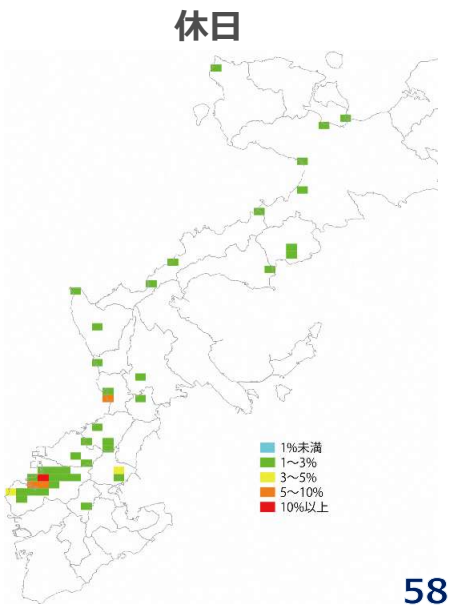


2022年２月（県外）

平日



休日



①　関係機関等ヒアリング先リスト

	分野	ヒアリング先団体名
1	観光	一般社団法人　浦添市観光協会
2	観光	浦添商工会議所　/　東京ヤクルトスワローズ・浦添協力会
3	観光	沖縄観光コンベンションビューロー
4	スポーツ	浦添市スポーツ協会　/　浦添市陸上競技協会
5	スポーツ	浦添市サッカー協会
6	スポーツ	浦添市グラウンドゴルフ協会
7	スポーツ	ハンドボールチーム　琉球コラソン
8	スポーツ	女子サッカークラブチーム　琉球デイゴス
9	スポーツ・観光	サッカークラブチーム　沖縄SV
10	スポーツ・管理	ANA　SPORTS　PARK　浦添指定管理者 代表団体　株式会社トラスティック 浦添市温水まじゅんらんど指定管理者 代表団体　株式会社フォスタ
11	スポーツ・福祉	特定非営利活動法人 沖縄県障がい者スポーツ協会
12	福祉	浦添市社会福祉協議会
13	福祉	浦添市身体障がい者福祉協会（サンアビリティーズうらそえ）
14	PPP/PFI分野	沖縄振興開発金融公庫
15	公園・緑分野	造園協会

②　関係機関等ヒアリング調査結果のまとめ

（1）観光分野に関する事項

観光客の利用促進
- 観光客への情報発信方法の検討
- 周辺市町村の観光拠点との連携
- 飲食施設や物販施設の導入検討
- イベントや興業、観るスポーツなど多目的な方面での公園利用

（2）スポーツ分野に関する事項

陸上競技場の機能更新
- 観客席の整備、芝の維持管理手法、夜間照明の改善
- 各競技の棲み分け、競技場の出入口の制限
- メインストレートとメインスタンドの配置構造
- 誘致するプロスポーツのレベルに合わせた施設整備

大型バスや障がい者用の駐車スペース確保
イベントが出来るオープンスペースの確保

（3）管理・運営分野に関する事項

管理・運営手法の検討
- 再整備後の施設利用料金の設定の検討
- ハーフコートで予約できるような柔軟な予約システムの検討

駐車場不足への対応及びアクセス方法
- 公園までのアクセス方法

新市民体育館整備後の運営
- 新市民体育館と既存市民体育館の運営方法
- 新市民体育館の多面的な利用やほか周辺施設との差別化

工事期間中の対応
- 工事期間中の緊急車両の確保
- 陸上競技場が利用できない期間の代替施設の検討

（4）福祉分野に関する事項

- 公園内施設におけるバリアフリーやユニバーサルデザインの導入
- 障がい者用の駐車スペースやトイレの拡充
- 授乳室やおむつ交換台等の乳幼児連れの利用者のための機能の拡充
- 誰にもわかりやすい案内表示
- イベント時等における福祉スペースの確保

（5）軍人・軍属分野に関する事項

- 外国人利用者を想定した施設や案内等（災害時における外国人の避難等も含め）

（6）PPP/PFI分野に関する事項

- 運動公園での飲食施設の導入方法（平日等の対策等）

（7）公園・緑分野に関する事項

- 芝の維持管理方法
- 樹木や施設の維持管理費用の低減
- 植栽等の適正化
- オープンスペースの確保

①　関係部局意見聴取リスト

	部局	関係課（室）	
1	総務部	防災危機管理課	防災
2	財務部	財政課、行財政改革推進課	財政・予算 民間活力（PPP/PFI）
3	企画部	企画課、デジタルシティ推進室	総合計画 ICT
4	市民部 経済文化局	市民生活課、観光振興課、文化スポーツ振興課	観光・スポーツ 市イベント関係
5	福祉健康部	福祉総務課、障がい福祉課、健康づくり課	福祉、健康づくり
6	こども未来部	こども政策課、こども未来課	こども、保育
7	都市建設部	都市計画課、美らまち推進課、新施設建設室、建築指導課、建築営繕課、 道路課	都市計画、公園 緑環境、建築、道路
8	教育委員会　指導部	学校教育課	学校、部活動
9	教育委員会　教育部	社会教育推進課	こども、社会教育

事項	関係部局からの主な意見
運動公園全体について	• 狭隘な園内での工事のため、工事所管課で連携を図りながら、安全かつ円滑に工事を進める必要がある。 • 景観の変容が見込まれるため、景観まちづくり審議会へ意見聴取などの調整が必要である。
陸上競技場について	• 陸上競技場の段差は、子どもが昇降し易い高さにするなど、子どもが安全に利用できる施設整備が必要である。 • メインスタンドに日除けを設置するなど、利用者に配慮した整備が必要である。 • イベント（てだこまつり等）の開催場所でもあるため、スポーツ機能に留まらず、イベント視点での整備も必要である。
園路・駐車場について	• イベント時の駐車場不足が問題であり、駐車スペースの確保の検討が必要である。 • 大型バス専用の駐車場の整備が必要である。 • 園路は安全のために歩車分離し、子どもでもわかりやすい表示で整備する必要がある。
観光分野に関する事項	• 市民や事業者、来訪者の賑わいを促すため、スポーツコンベンションの推進に取り組む必要がある。 • 既存のイベントに加え、新たなスポーツイベントにつながる拠点整備の検討が必要である。
スポーツ分野に関する事項	• 学校以外でも子どもが体を動かす場の整備の検討が必要である。例えばレンタル自転車で公園内を自転車走行できる環境の検討が必要である。 • 新たなスポーツ・レクリエーションの普及を図るため、多様なスポーツ・レクリエーション活動が可能な施設整備の検討が必要である。 • 高いレベルのスポーツを観戦する機会や、トップアスリートとの交流機会を創出するため、市民に対してスポーツへの関心を高める環境を整備する必要がある。 • 市民ニーズを踏まえて、ライフステージに応じた、誰もが利用できるユニバーサルデザインの視点に立ったスポーツ・レクリエーション施設の整備を検討する必要がある。
管理運営分野に関する事項	• 施設完成後における維持修繕費等を抑えられるよう検討が必要である。 • 市民運動公園であるため、工事中のみならず、工事後の運営においても、市民サービスの低下が最小限となるよう検討が必要である。 • 受益者負担の原則を取り入れ、駐車場の有料化など、財源確保の検討が必要である。
福祉分野に関する事項	• こどもトイレ、授乳室、おむつ交換台等の設置の検討が必要である。 • バリアフリー及びユニバーサルデザインの考え方に基づいた環境整備が必要である。 • 防災及び感染症対応の観点から、人工呼吸器装置のための非常用電源の設置や、部屋を仕切る等の対応が可能な施設整備が必要である。
その他事項	• 浦添運動公園を広域避難場所として指定しているため、広域避難場所としての防災機能の拡充が必要である。

① 民間活力を活用した運営管理の検討について

- 浦添運動公園内において、**持続可能で柔軟な公園運営**に向けた手法の一つとして、**PPP/PFIを活用**した取り組みを検討していきます。
- PPP/PFIの活用について、**関係者ヒアリング**や**公園利用者へのアンケート調査**を実施し、当該**公園利用者のニーズ等を把握**すると共に、**マーケットサウンディングによる事業者の意向**を確認しながら、**どのような手法が適切**であるか検討していきます。
- **市民、周辺市町民（那覇市、宜野湾市、西原町等）、観光客**を対象とした**アンケート調査を実施済。**また、**関係団体（分野：観光、スポーツ、福祉、管理、PPP/PFI、公園・緑等）**への**ヒアリングも実施済。**
- 市民等や関係団体、本市庁内関係部の意向を把握し、**今後、マーケットサウンディングを実施**する予定です。
- 以下、現時点での浦添運動公園の管理運営手法に関する検討案です。

PFI（コンセッション方式等）	指定管理者制度	Park-PFI
新市民体育館の管理・運営 ※新市民体育館整備は、プロスポーツ（ハンドボール等）の大会が可能など、興行の実施を見据え、民営の可能性を検討する。	新市民体育館を除く**運動施設等（陸上競技場、屋内運動場等）** Park-PFI部分を除く**公園敷地** ※民営の可能性が低い運動施設や公園敷地は、指定管理委託料の低減に寄与する取組みを検討する。	**公募対象公園施設（飲食店・売店等）、特定公園施設（園路、広場等）**の部分（関係者ヒアリング、市民等のアンケート調査の結果等により、公募対象施設を決定していく。） ※民設民営の可能性がある施設や参入企業について検討する。

※現時点の案であり、今後の検討により、変更する可能性はあります。

②　公共施設等の運営に関する官民連携手法

- 公共施設等の運営に関する官民連携手法として、指定管理者制度やPFI（コンセッション手法）を念頭に検討しています。両手法は、根拠となる法令や権原等に相違があるため、それぞれの特色を踏まえた上で、適切な手法について選択、又は併用することが必要と考えています。

公共施設等の運営に関する官民連携手法の比較

	スポーツ施設等	
比較項目	**指定管理者制度**	**コンセッション手法**
根拠法（特性）	地方自治法（行政事務の代替）	PFI法（公共施設等の整備・運営）
官民の関係性	基本協定・実施協定による協定関係	実施契約による契約関係
期間	5年程度の場合が多い※1	20年以上が一般的
対象	公の施設（利用料金の徴収有無は問わない）	利用料金の徴収を行う公共施設等（公の施設以外も可）
建物の改築・更新	業務範囲に含まれないことが一般的	業務の一環として実施可能
利用料金（変更に係る取扱い）	収受可能（変更には首長の承認が必要）	収受可能（届出により柔軟に変更が可能）
公の施設の使用許可	条例に基づき使用許可を与えることが可能	使用許可を与えることは不可
行政財産の利活用	設置目的の範囲外で収益性・サービス向上等に取り組む場合、目的外使用許可を受けること等で利活用が可能	左記の場合、目的外使用許可以外にPFI法に基づく私権の設定により利活用が可能
抵当権	抵当権の設定対象となる物権なし	運営権に対して設定可能
公共側の事由による取消に対する補償	地方自治法上の規定なし	取消に発生する損失の補償が必要※2

※1：総務省が公表している『公の施設の指定管理者制度の導入状況等に関する調査結果（令和4年3月29日公表）』では、指定期間「5年」が72.7%、「5年超」が7.6%。ただし、指定期間について法令上の定めはなく、事業の目的や特性等を踏まえ適切に定めるべきものであり、PFI事業者を指定管理者にする場合は、PFI事業期間を指定期間とすることも想定され得る。
※2：PFI法第30条第1項に規定されている。

出典：内閣府「スタジアム・アリーナに係るコンセッション事業活用ガイドライン」

③ 先進事例・県内事例のヒアリング及び施設視察

- 浦添運動公園再整備基本構想及び基本計画策定にあたり、民間活力の活用による管理運営方式の検討に関して、国土交通省が紹介するPPP／PFI推進施策の先進事例や、県内事例について、ヒアリング及び施設視察を実施しました。

ヒアリング先	大阪府　堺市 観光局観光部観光推進課 建設局公園緑地部公園監理課	岡山県　津山市 総務部財産活用課 株式会社Globe	沖縄県　那覇市 都市みらい部公園管理課
公園・施設等	大仙公園（総合公園） 原池公園（運動公園）	グリーンヒルズ津山 Globe sports dome 城下小宿糀や	那覇市松山公園文化交流施設 （福州園/連携施設/駐車場）
選定理由等	**【Park-PFIの先進事例】** 大仙公園は世界文化遺産の「百舌鳥・古市古墳群」が隣接・点在する総合公園。園内には博物館や図書館、日本庭園等が立地し、Park-PFI制度より、飲食・物販施設を整備。 原池公園は体育館や野球場、多目的広場等が立地し、浦添運動公園に類似する運動公園。 Park-PFI制度より、スケートボードパークやBBQ施設、グラウンドゴルフ場を整備。	**【PFI（コンセッション方式）の先進事例】** GlobeSportsDomeは市営のレジャープール施設をRO+コンセッション方式で再整備し、民営化された施設。 城下小宿糀やは津山市が市内の町家４棟を整備し、宿泊施設としてコンセッション（公共施設等運営権）方式を採用した観光拠点施設。国の補助金より施設整備、市が所有権を持ち、運営権を民間に設定。	**【指定管理者制度による飲食店運営の先進事例】** 那覇市松山公園は福州園、公園連携施設（クニンダテラス）、駐車場から構成。福州園は中国式庭園、クニンダテラスは琉球の歴史展示室、飲食店、交流室、広場を有する。 指定管理者制度で公園全体の管理・運営を行い、ライトアップ設備やイベント広場を整備。令和４年度にリニューアルオープンした施設。
ヒアリング内容	・Park-PFIのこれまでの取組み ・企業サウンディング調査 ・サウンディング調査結果 ・公募リスク管理 ・事業期間内の見直し有無 ・事業者の取組みや工夫点 ・今後の取組みや課題	・PFIのこれまでの取組み ・企業サウンディング調査 ・サウンディング調査結果 ・公募リスク管理 ・事業期間内の見直し有無 ・事業者の取組みや工夫点 ・今後の取組みや課題	・飲食店の収支 ・飲食店運営の課題等 ・事業者の取組みや工夫点 ・公募リスク管理 ・事業継続に係る見直し有無 ・今後の運営手法の変更有無 ・PFIのこれまでの取組み

④ 先進事例・県内事例のヒアリング結果

市町村	大阪府堺市		岡山県津山市	沖縄県那覇市
公園	大仙公園	原池公園	グリーンヒルズ津山	松山公園
公園の特徴	世界文化遺産である「百舌鳥・古市古墳群」が隣接・園内に点在する総合公園	運動公園でのPark-PFI活用	公園内の施設をRO+コンセッション方式で再整備	指定管理による飲食事業施設等の運営
公園の維持管理	直営+指定管理	指定管理	直営	直営+指定管理
面積	約39ha	約17ha	約27ha	約3ha
駐車場	有料 （カフェ利用者に割引等）	有料 （ジム利用者の割引等）	無料	有料
公園内施設	こふん前 Café IROHA / ICOROBA Café Terrace	BBQ施設（matoi） スケートボードパーク（初心者コース）	グローブスポーツドーム（旧グラスハウス）	クニンダテラス
官民連携手法	Park-PFI	Park-PFI	PFI（RO+コンセッション）	指定管理
事業区域 （敷地面積）	約929㎡ / 約2,897㎡	約3,200㎡	約12,000㎡	福州園　8,500㎡ 連携施設　1,400㎡
事業期間	10年間	20年間	20年間	5年間
課題	• 世界文化遺産への登録に伴う、観光客等の受入環境整備	• 複数の管理事業者では、公園管理の調整が困難 • 既存施設（BBQ施設、スケートボードパーク）の改善や拡張	• 公園内施設（グラスハウス）の再整備	• 指定管理期間の終了後、テナントの変更に伴う現状復旧費 • 初期投資回収に要する期間と指定管理期間との整合
ヒアリングの結果	• 隣接・点在する世界文化遺産や園内の日本庭園など、観光資源を有することから観光客の利用者が多い。 • Park-PFIのカフェは、周辺住民の利用者も多く、平日でも多くの利用者を確認。	• 平日昼間のバーベキュー施設は利用者がいない状況。現在、平日やオフシーズンの対策を検討中。 • 指定管理者とPark-PFI事業者は同一事業者として、一元管理を実施。 • 利用者が見込める場合等、事業者の判断により、カフェを設置（任意）。	• 再整備手法は公共工事に比べ、スケジュールの短縮や費用の軽減が見込まれるため、RO（民間が資金調達、建物改修、維持管理・運営）を選択。 • 当該手法により、運営事業者の意向に沿った運営が可能。 • 運営状況は、昨年度からの実施のため、今後分析等を実施。	• 指定管理業務と自主事業の収支を区分することで事業者の負担軽減。 • 自主事業の売上の市への納入割合はプレゼン時の提案による。 • 飲食店で収支のバランスを図ることは困難、利益が想定できる自主事業との組合せが必須。

	岡山県津山市
地区	城東重要伝統的建造物群保存地区
特徴	コンセッション（公共施設等運営権）方式を利用した観光の拠点施設の整備
整備	国の補助金を活用（地方創生交付金、文化庁の重要伝統的建造物群保存地区保存等事業費国庫補助伝建補助、国交省の街並み環境整備事業）
面積	約８ha
施設	城下小宿糀や（しろしたこやど こうじや）
事業区域	旧苅田家付属町家群を活用した施設
官民連携手法	PFI（コンセッション）
事業期間	20年間
課題	伝統建造物保存地区の家屋の維持・保全
ヒアリングの結果	• 国の補助金により、整備した施設を民営化。 • 市が所有権を持ち続けながら、運営権を民間事業者に設定。 • 運営事業者が希望する整備は、公共工事とは別に事業者負担により整備。

⑤ Park-PFIに関するヒアリング

- マーケットサウンディングによる事業者の意向確認の検討にあたり、事前に、全国の公園で、Park-PFI事業に多くの参入がみられるスターバックスコーヒージャパン（株）に意見交換を実施。

- 意見交換の主な内容は、「沖縄県内でPark-PFI事業の公募があった場合の参入予定・意向」、「Park-PFI事業の参入条件」など。

【ヒアリング結果】

- 沖縄県内のPark-PFI事業への参入は、今後、条件が整えば可能性はある。
- 今後も浦添市内に店舗を出店していく意向。
- Park-PFI事業の参入は、公園管理を行う別途事業者と構成する組織で参入する。
- 当社の出店形態は駅構内等の「レギュラー」型と道路沿いの「ドライブスルー」型の２パターンとなる。
- 浦添運動公園は公園利用者が少ないため、「レギュラー」型では困難と考える。「ドライブスルー」型での検討が望ましい。
- 「ドライブスルー」型の店舗は「敷地面積が最低500坪以上」、「道路付けできる場所」等の諸条件がある。
- 山口県の「山口市中央公園店」と福岡県の「到津の森公園店」は、浦添運動公園に条件が類似しており、参考になるのでは。

山口市中央公園店

引用元（山口市HP中央公園にスターバックスコーヒーがオープンします）

スターバックスコーヒー
店舗イメージ

到津の森公園店

引用元（北九州市HP公募設置等予定者の選定結果について）

① 県内類似施設の現地視察（陸上競技場）

視察先	沖縄県 糸満市	沖縄県 豊見城市
公園・施設等	西崎運動公園（運動公園）西崎陸上競技場	豊見城総合公園（総合公園）陸上競技場
面積	約28,900㎡（競技面積：グランド 約20,571㎡、メインスタンド 約4,589㎡、芝スタンド 約3,740㎡）	約25,835㎡（競技面積：グランド 約20,385㎡）
主な施設	400m×8レーン、全天候型、天然芝フィールド103m×70m、投てき（砲丸・ハンマー・円盤・やり）、跳躍（幅跳び、三段跳び、棒高跳び）、3000m障害用設備、雨天走路50m×3レーン	400m×8レーン、全天候型、天然芝フィールド106m×70m、投てき（砲丸・円盤）、跳躍（幅跳び、三段跳び、棒高跳び）
付帯設備	ナイター設備、会議室、更衣室、シャワールーム、救護室	ナイター設備、シャワールーム
陸上競技公認	第3種公認	非公認
選定理由等	同種公認施設の中から、概ね同規模施設を選定	非公認施設の中から、概ね同規模施設を選定
ヒアリング内容	• スポーツコンベンションの取り組み • 運動公園、陸上競技場の管理運営と収支の状況 • 維持管理費の縮減の取り組み • 施設の運用や維持保全に関する課題とその解決策の取り組み	• スポーツコンベンションの取り組み • 運動公園、陸上競技場の管理運営と収支の状況 • 維持管理費の縮減の取り組み • 施設の運用や維持保全に関する課題とその解決策の取り組み
視察結果	• 競技場への入退場は、出入口が一か所に集約されており、事務室より管理されている。 • 個人及び団体の利用、専用使用は利用料金を支払わなければならない。 • メインスタンドには一部屋根を設置している。 • 協力会を設立して官民一体となってプロスポーツキャンプ等の誘致に取り組んでいる。新規キャンプ等の受け入れの問合せがあるが、市民の体育施設利用への影響が課題となっている。 • 施設管理は指定管理者が行っており、施設予約方法の効率化や維持管理におけるPFIの活用等を検討している。	• 競技場への入退場は、出入口が一か所に集約されており、事務室より管理されている。 • 一般利用は、専用使用がない場合、通常開放されており、ウォーキングやジョギング等の目的では自由に使用できる。 • 市内企業等で構成する団体により、公園内の樹木の剪定等を行うことで、維持管理費の軽減を図っている。 • 過年度のオリンピック代表の合宿受入やプロスポーツキャンプの誘致など、スポーツコンベンションの推進に取り組んでいる。 • 市直轄の管理・運営のために経費削減が難しい状況。今後、使用料の見直しなど、収入を増やす取り組みを検討していく。

写真：スポーツコミッション沖縄「プランナーズガイドブック」

写真：スポーツコミッション沖縄「プランナーズガイドブック」

※公認陸上競技場は，陸上競技の練習ならびに国内の競技会の運営が支障なく行われ，樹立された記録が十分信頼し得るように公認制度を設け，公認競技会を開催し得る十分な精度のある適切な施設として検定を行い認定（日本陸上競技連盟）

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画
4　再整備に向けての課題及び解決策 【4-7　国等の取組】

浦添市

	国	県	市	上位関連計画等の考察
総合計画	**沖縄振興基本方針（R4.4）** 観光・リゾート産業の振興に関する基本的な事項 ・スポーツ交流拠点の形成	**新・沖縄２１世紀ビジョン基本計画（R4.5）** ・スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成 ・スポーツ資源を活用したまちづくり　　等	**第五次浦添市総合計画（R3.3）** 多様なスポーツの総合的な推進 ・新たなスポーツ・レクリエーションの普及 ・高いレベルのスポーツを観戦する機会やトップアスリートとの交流機会を創出 スポーツ環境の整備・充実 ・ユニバーサルデザインの視点に立ったスポーツ・レクリエーション施設の充実 ・スポーツ・レクリエーションに関する情報の提供	・スポーツコンベンションの推進やスポーツ交流拠点の形成、障がい者等のスポーツ参加が求められる
SDGs	**SDGsアクションプラン2023** ・障がい者スポーツ推進プロジェクト ・女性アスリートの育成・支援プロジェクト ・Sport in Life推進プロジェクト（生活の中にスポーツをが取り込まれている）　等	**おきなわSDGsアクションプラン2023** ・スポーツイベント開催、キャンプ誘致、地域プロスポーツなどにより地域の活性化と多様な交流を促進		
脱炭素	**地球温暖化対策計画（R3.10）** ・都市公園への再生可能エネルギーの導入推進　等 **地域脱炭素ロードマップ（R3.6）** ・CO2吸収量確保のための都市公園等の整備・保全 ・都市公園への再生可能エネルギー導入等	**第2次沖縄県地球温暖化対策実行結果（R3.3）** ・市街地に残る大規模緑地の保全の推進 **クリーンエネルギー・イニシアティブ（R4.3）** ・クリーンエネルギーの導入拡大	**浦添市地球温暖化対策実行計画（H29.3）** ・緑地の保全及び都市緑化の推進 ・高効率な省エネルギー機器の普及	・公園の緑地の保全や再生可能エネルギーの導入の推進が求められる
ニューノーマル	**都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言（R4.10）** ・新たな価値創出や社会課題解決に向けたまちづくりの場とする（グリーンインフラとしての保全・利活用、居心地が良く、誰もが安全・安心で、快適に過ごせる空間づくり） ・しなやかに使いこなす仕組みをととのえる（利用ルールの弾力化、社会実験の場としての利活用） ・管理運営の担い手を広げ・つなぎ・育てる（担い手の拡大と共創、自主性・自律性の向上）　等			・グリーンインフラとしての保全・利活用、誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間等が求められる
スポーツ	**第3期スポーツ基本計画（R4.3）** ・スポーツの成長産業化（多機能型、民間活力導入、収益性改善等）	**第2期スポーツ推進計画（R4.3）** ・県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進（高齢者や障がい者のスポーツ参加） ・スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成（スポーツイベント、キャンプ、合宿等のスポーツコンベンションを関係団体と連携して誘致・開催）	**浦添市スポーツ推進計画（H27.3）** ・基本施策「スポーツの交流を通して活力あるてだこのまちづくり」では、スポーツイベント等を通して入域増を図りスポーツコンベンションの充実につなげることを目標	・スポーツの成長産業化や、生涯スポーツの推進が求められる ・国・県の計画改定や新市民体育館整備後を見据えた市計画の更新が求められる
観光	**観光立国推進基本計画（R5.3）** ・スポーツツーリズムの推進（スポーツの参加や観戦を目的とした地域の訪問や、地域資源とスポーツを掛け合わせた観光を楽しむスポーツツーリズムの推進）	**第6次沖縄県観光振興基本計画（R4.7）** スポーツツーリズムの推進 ・スポーツを核とした新産業の創出とグローバル展開 ・スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成 **スポーツコンベンション誘致戦略（H27.3）** **（市の役割）** スポーツコンベンション受入や企画運営、民間事業者との連携窓口、専門人材の育成、地域のスポーツ振興等	**浦添市観光振興計画（H30.3）** スポーツツーリズム・MICE等の推進 ・スポーツツーリズムの充実 ・魅力ある新たなスポーツイベントの創出 ・スポーツ環境の整備・充実	・スポーツツーリズムの推進とスポーツ交流拠点の形成が求められる ・国・県の計画改定や新市民体育館整備後を見据えた市計画の更新が求められる
防災	**国土強靭化基本計画（H30.12）** ・公園・街路等の活用による避難地・避難路の整備 **防災基本計画（R4.6）** ・都市公園等に防災拠点を整備	**沖縄県国土強靭化地域計画（R5.3一部改定）** ・防災機能を付加した都市公園等の整備を推進し、避難経路、避難地等の確保 **沖縄県地域防災計画（R3.6修正）** ・防災拠点機能の確保 ・避難地・避難路の確保及び誘導標識等の設置	**浦添市国土強靭化地域計画（R4.3）** ・広域避難地等を計画的に配置・整備 ・公園等について避難場所の指定、防災用施設の整備や案内板の設置等 **浦添市地域防災計画（H31.3）** ・浦添運動公園及び浦添カルチャーパークは広域避難場所に指定	・広域避難場所としての防災関連計画と連携した機能等の導入が求められる
みどり・景観	**緑の政策大綱** ・緑の保全、創出、活用に関する総合的な計画の策定 ・緑の創出と活用 ・緑の保全 **景観法** 良好な景観は、「国民共有の資産」、「地域の自然、歴史、文化等の人々の生活、経済活動等の調和により形成」、「地域の固有の特性と密接に関連」、「地域の活性化に資する」、「保全のみならず新たに創出することを含む」	**沖縄県広域緑地計画（H30.3）** ・沖縄の風土に根差したみどりを守り活かす ・地域の特性に応じたみどりの水準を確保 ・多様なみどりによる沖縄らしい地域づくり ・圏域ごとのみどりのつながりと仕組みづくり **沖縄県景観形成基本計画（H23.1）** ・沖縄らしさを持つ景観形成 ・生活の質を高める景観形成 ・県民一人一人がつくっていく景観形成	**浦添市ティーダヌファみどり計画（R2.5）** ・浦添カルチャーパーク、浦添運動公園一帯を浦添の自然を豊かにするみどりの拠点として整備 **浦添市景観まちづくり計画（R4.3）** ・ティーダヌファの景観を代表するみどりの拠点の整備、および浦添の風土を特徴づけるみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全	・みどりの拠点として緑の保全が求められる ・浦添の風土を特徴づけるみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全が求められる

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画
4　再整備に向けての課題及び解決策 【4-8　市民等の意向と各調査の関係性】

浦添市

市民（利用者）

- 利用者の回答の多くは、**30-50代の中年層**で、その家族構成は**子どもと同居の二世代世帯**が最も多く、**子育て世代**となっている。
- この世代は、**車利用の交通手段**が多く、**駐車場不足**、**施設老朽化**、**売店不足**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**子どもを安心して遊ばせられる**公園」と「**スポーツや健康づくり、行事を楽しむ**公園」が多く、**子どもの利用を中心**とした回答となっている。

- 次に回答が多い**60代以上の高齢層**では、その家族構成は**子どもと同居の二世代世帯**と**夫婦のみ**が多い。
- 高齢層の交通手段も**車利用**が多く、**駐車場不足、施設老朽化、トイレや水飲み場不足**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**緑や花がきれいな**公園」が多く、次に「**スポーツや健康づくり、行事を楽しむ**公園」となっており、**本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。

- **10，20代の若年層**では、その家族構成は**夫婦のみ**が最も多く、次に一人暮らし、親と同居の二世代世帯となっている。
- 若年層の交通手段も**車利用**が多く、他同様、**駐車場不足、施設老朽化、売店不足**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**スポーツや健康づくり、行事を楽しむ**公園」が最も多く、次に「**子どもを安心して遊ばせられる**公園」「**カフェやレストランで食事等ができる**公園」「**eスポーツやコンサート等のイベントに参加できる**公園」が同率となるなど、他の年齢層と比較して、**多様な過ごし方ができる**ような回答となっている。

- **交通手段**は、全ての年齢層で車利用が最も多かったが、次点の**徒歩**も全ての年齢層で**２番目に多い**回答となっている。

- 公園を**利用している理由**では、**「近い」「費用がかからない」「スポーツ施設」**という回答が最も多く。この回答により、**近いにも関わらず車利用が多い**こと、**費用がかからない（利用料金が低額）ため、利用度は高くなるものの、維持管理費用の確保が難しい**こと、**スポーツ施設を目的に利用するものの、老朽化対策のニーズがある**ことなど、利用者の意向と公園・施設の運用では相反するような現状が見受けられる。

利用者の動向（ビッグデータ分析）

滞留・移動	• 平時は、立体駐車場を除き、滞留・移動が特化する箇所はなし。 • イベント時は中央園路や市民体育館前での滞留・移動を確認。 • 平時とイベント時に利用者の多い時間帯でも利用の少ない箇所がある • 夜間から早朝の時間帯は、平時とイベント時共に、利用者が少ない。 • 利用者が少ない時間帯でも、陸上競技場や園路での滞留・移動が確認されることから、散歩やジョギング等の利用が想定される。 • 立体駐車場の滞留・移動により、車での来園が想定。
アクセス	• 県内利用者は運動公園を中心に半径２km範囲からのアクセスが多い。 • 県外利用者は主に那覇市や宜野湾市からのアクセスが多い。一方、プロ野球キャンプ時は北部地域からの、より広域的となっている。

関係機関等ヒアリング

• 観光客の利用促進 • 陸上競技場の機能更新 • 大型バスや障がい者用の駐車スペース確保 • イベントが出来るオープンスペースの確保 • 駐車場不足及びアクセス方法	• 新市民体育館整備後の運営 • 障がい者等に配慮した施設等の整備 • 外国人利用者を想定した施設・案内等の整備 • 飲食施設の導入 • 芝や樹木の維持管理 • 管理・運営手法の検討

庁内関係部局ヒアリング

• 狭隘な園内のため、関係課連携のもと、安全かつ円滑な工事進捗 • 景観まちづくり審議会の意見聴取 • 運動施設の段差解消 • メインスタンドの日除け設置 • イベント時など、駐車場不足問題による駐車スペースの確保 • 大型バス専用の駐車場の整備 • 園路の歩車分離、子どもでもわかりやすく表示。 • 子どもが体を動かす場の整備 • スポーツコンベンションの推進 • 維持管理費用の低減	• 既存イベントに加え新たなスポーツイベントにつながる拠点整備 • レンタル自転車で園内を走行できる環境整備 • こどもトイレ、授乳室、おむつ交換台の設置 • バリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備 • 非常用電源の設置（人工呼吸器装置）や部屋として利用できるよう仮設間仕切り • 広域避難場所として防災機能拡充 • 駐車場有料化など、財源の確保

上位関連計画

総合計画 SDGs	• スポーツコンベンションの推進やスポーツ交流拠点の形成、障がい者等のスポーツ参加
脱炭素	• 公園の緑地の保全や再生可能エネルギーの導入の推進
ニューノーマル	• グリーンインフラとしての保全・利活用、誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間
スポーツ	• スポーツの成長産業化や、生涯スポーツの推進
観光	• スポーツツーリズムの推進とスポーツ交流拠点の形成
防災	• 広域避難場所としての防災関連計画と連携した機能等の導入
みどり・景観	• みどりの拠点として緑の保全 • 浦添の風土やみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全

市民意向と各調査のクロス分析

市民（利用者）

中年層の子育て世代は、子どもの遊び場の整備や、スポーツや健康づくり、行事を楽しむ場など、**子どもの利用を中心としたような要望**がある。
園内には利用者が特化して集まっている場所も少なく、関係団体等からも飲食施設等の賑わい施設の導入を求められているなど、**便益施設（飲食店）の充実が必要である**。

高齢層は、散歩で利用する方が多く、緑や花等の自然を感じ**ゆっくりと時間を過ごすことができる場の要望**や、トイレ・水飲み場、ベンチ等の**休憩所の整備**が求められている。
散歩コースとなる園路へのベンチ整備や陸上競技場内の散歩コースの整備など、施設整備を検討すると共に、木陰の整備や障がい者に配慮した**バリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備**に取り組む必要がある。

若年層は、スポーツ・健康づくりを中心としながらも、多様な過ごし方（食事やeスポーツやコンサート等のイベント参加）のニーズがあり、施設の機能更新等が求められている。
観るスポーツや新たなスポーツイベントにつながる新たな施設整備や既存施設の機能更新に取り組む必要がある。

障がい者や外国人等のあらゆる利用者が快適にスポーツや健康づくりに参加できることが求められており、わかりやすい案内表示やバリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備に取り組む必要がある。

整備方針（案）

いつでも、誰でも、気軽に、いつまでも、スポーツ・健康づくりに親しむことができる、快適で、安全・安心な市民運動公園

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画
4 再整備に向けての課題及び解決策 【4-8 市民等の意向と各調査の関係性】

浦添市

市民（未利用者）

- 未利用者の回答の多くは、利用者と同様に、**30-50代の中年層**で、その家族構成は**その他**が最も多く、次に**子どもと同居の二世代世帯**となっている。
- 公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**が多く、**駐車場不足**、**子どもが楽しめない**、**売店不足**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**スポーツや健康づくり、行事を楽しむ**公園」が多く、次に「**街なかなどにある身近な**公園」「**ゆっくり休むことができる**公園」となっており、**子どもの利用**と**本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。

- 次に回答が多い**60代以上の高齢層**では、その家族構成は**その他**が最も多く、次に**子どもと同居の二世代世帯**と**一人暮らし**なっている。
- 公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**が最も多い。主なニーズは、**施設老朽化**や**トイレや水飲み場の不足**、**運動施設が少ない**、**高齢者や障がい者等が利用しにくい**、**プロスポーツ等を観戦できる機会が少ない**、**売店不足**、**駐車場不足**、**イベントがない**と多岐にわたっている。
- 公園の要望では、「**ゆっくり休むことができる**公園」と「**カフェやレストランで食事等ができる**公園」となっており、休息や飲食店等の**癒し空間を求める**ような回答となっている。

- 回答が最も少ない**10，20代の若年層**は、その家族構成は**その他**と**親と同居の二世代世帯**となっている。
- 公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**と**バス**となっている。主なニーズは、**施設老朽化**となっている。
- 公園の要望は、「**緑や花がきれいな**公園」「**ゆっくり休むことができる**公園」「**カフェやレストランで食事等ができる**公園」「**eスポーツやコンサート等のイベントに参加できる**公園」と多岐にわたり、**多様な過ごし方ができる**ような回答となっている。

- 公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**が最も多く、次点の**徒歩**も、利用者と同様な回答となっている。

- 公園を**利用していない理由**では、**「公園に用事がない」「家から遠い」「スポーツをしない」**という回答が最も多く。この回答により、**公園に行きたくなるようなハード整備・ソフト対策**や**スポーツを行う機会の創出**など、未利用者の利用を促す取り組みが必要である。

利用者の動向（ビッグデータ分析）

滞留・移動	• 平時は、立体駐車場を除き、滞留・移動が特化する箇所はなし。 • イベント時は中央園路や市民体育館前での滞留・移動を確認。 • 平時とイベント時に利用者の多い時間帯でも利用の少ない箇所がある。 • 夜間から早朝の時間帯は、平時とイベント時共に、利用者が少ない。 • 利用者が少ない時間帯でも、陸上競技場や園路での滞留・移動が確認されることから、散歩やジョギング等の利用が想定される。 • 立体駐車場の滞留・移動により、車での来園が想定。
アクセス	• 県内利用者は運動公園を中心に半径２km範囲からのアクセスが多い。 • 県外利用者は主に那覇市や宜野湾市からのアクセスが多い。一方、プロ野球キャンプ時は北部地域からの、より広域的となっている。

関係機関等ヒアリング

• 観光客の利用促進 • 陸上競技場の機能更新 • 大型バスや障がい者用の駐車スペース確保 • イベントが出来るオープンスペースの確保 • 駐車場不足及びアクセス方法	• 新市民体育館整備後の運営 • 障がい者等に配慮した施設等の整備 • 外国人利用者を想定した施設・案内等の整備 • 飲食施設の導入 • 芝や樹木の維持管理 • 管理・運営手法の検討

庁内関係部局ヒアリング

• 狭隘な園内のため、関係課連携のもと、安全かつ円滑な工事進捗 • 景観まちづくり審議会の意見聴取 • 運動施設の段差解消 • メインスタンドの日除け設置 • イベント時など、駐車場不足問題による駐車スペースの確保 • 大型バス専用の駐車場の整備 • 園路の歩車分離、子どもでもわかりやすく表示。 • 子どもが体を動かす場の整備 • スポーツコンベンションの推進 • 維持管理費用の低減	• 既存イベントに加え新たなスポーツイベントにつながる拠点整備 • レンタル自転車で園内を走行できる環境整備 • こどもトイレ、授乳室、おむつ交換台の設置 • バリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備 • 非常用電源の設置（人工呼吸器装置）や部屋として利用できるよう仮設間仕切り • 広域避難場所として防災機能拡充 • 駐車場有料化など、財源の確保

上位関連計画

総合計画 SDGs	• スポーツコンベンションの推進やスポーツ交流拠点の形成、障がい者等のスポーツ参加
脱炭素	• 公園の緑地の保全や再生可能エネルギーの導入の推進
ニューノーマル	• グリーンインフラとしての保全・利活用、誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間
スポーツ	• スポーツの成長産業化や、生涯スポーツの推進
観光	• スポーツツーリズムの推進とスポーツ交流拠点の形成
防災	• 広域避難場所としての防災関連計画と連携した機能等の導入
みどり・景観	• みどりの拠点として緑の保全 • 浦添の風土やみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全

市民意向と各調査のクロス分析

市民（未利用者）

未利用者は全体的に回答数が少ないため、今後も調査・研究を進める必要がある。現回答数では、以下のことが見込まれる。

中年層の子育て世代は、スポーツや健康づくり、行事を楽しむ場の整備や、ゆっくりと時間を過ごすことができる場など、**子どもの利用と本人の余暇を楽しむような要望**がある。
公園に行きたくなるような**運動施設の整備**や、**運動する機会の創出**、**休息できる空間**、**便益施設の整備**が必要である。

高齢層は、ゆっくりと時間を過ごすことができる場の整備や、カフェやレストランで食事等ができる場など、**休息や飲食店等の癒し空間を求めるような要望**がある。また、ニーズも多岐にわたっており、**運動施設、便益施設、緑陰・木陰の整備等と共に、障がい者に配慮したバリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備に取り組む必要**がある。

若年層は回答数が最も少ないが、**概ね利用者と同様な意見**となっている。**多様な過ごし方**（食事やeスポーツやコンサート等のイベント参加）**に対応した施設の機能更新等が求められている**。

公園に行きたくなるようなハード整備・ソフト対策やスポーツを行う機会の創出として、新たなスポーツイベントにつながる施設整備や機能更新、イベントができるオープンスペースの確保、また、気軽に立ち寄り、多様な過ごし方のできる場の整備等が想定される。

整備方針（案）

いつでも、誰でも、気軽に、いつまでも、スポーツや健康づくり等に行きたくなるような市民運動公園

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画
4　再整備に向けての課題及び解決策 【4-8　市民等の意向と各調査の関係性】

浦添市

周辺市町村住民（利用者）

- 利用者の回答の多くは、**30-50代の中年層**で、その家族構成は**子どもと同居の二世代世帯**が最も多く、**子育て世代**となっている。
- この世代は、**車利用の交通手段**が多く、**駐車場不足**、**売店不足**、**公共交通アクセス**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**ゆっくり休むことができる**公園」が多く、次に「**緑や花がきれいな**公園」「**子どもを安心して遊ばせられる**公園」となっており、**子供の利用**と**本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。

- 次に回答の多い**10，20代の若年層**は、その家族構成は**親と同居の二世代世帯**が最も多く、次に一人暮らし、子どもと同居の二世代世帯が多い。
- 若年層の交通手段も**車利用**が多く、**駐車場不足**、**公共交通アクセス**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**ゆっくり休むことができる**公園」が最も多く、次に「**緑や花がきれいな**公園」となっており、**本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。

- **60代以上の高齢層**は、その家族構成は**夫婦のみ**が多く、次に一人暮らし、子どもと同居の二世代世帯となっている。
- 高齢層の交通手段も**車利用**が多く、**駐車場不足**、**トイレや水飲み場不足**、**公共交通アクセス**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**ゆっくり休むことができる**公園」が最も多く、次に「**緑や花がきれいな**公園」「**緑豊かで自然と触れ合える**公園」となっており、**自然を感じながら本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。

- **交通手段**は、全ての年齢層で車利用が最も多かったが、若年層と中年層では**バスが２番目**に多い回答となっている。

- 公園を**利用している理由**では、**「費用がかからない」「広い」「緑が多い」**という回答が多い。この回答により、**費用がかからない（利用料金が低額）**、**広い**、**緑が多い等の理由により**、**利用度は高くなるものの**、**維持管理費用の確保が難しい**など、利用者の意向と公園・施設の運用では相反するような現状が見受けられる。

利用者の動向（ビッグデータ分析）

滞留・移動

- 平時は、立体駐車場を除き、滞留・移動が特化する箇所はなし。
- イベント時は中央園路や市民体育館前での滞留・移動を確認。
- 平時とイベント時に利用者の多い時間帯でも利用の少ない箇所がある。
- 夜間から早朝の時間帯は、平時とイベント時共に、利用者が少ない。
- 利用者が少ない時間帯でも、陸上競技場や園路での滞留・移動が確認されることから、散歩やジョギング等の利用が想定される。
- 立体駐車場の滞留・移動により、車での来園が想定。

アクセス

- 県内利用者は運動公園を中心に半径２km範囲からのアクセスが多い。
- 県外利用者は主に那覇市や宜野湾市からのアクセスが多い。一方、プロ野球キャンプ時は北部地域からの、より広域的となっている。

関係機関等ヒアリング

- 観光客の利用促進
- 陸上競技場の機能更新
- 大型バスや障がい者用の駐車スペース確保
- イベントが出来るオープンスペースの確保
- 駐車場不足及びアクセス方法
- 新市民体育館整備後の運営
- 障がい者等に配慮した施設等の整備
- 外国人利用者を想定した施設・案内等の整備
- 飲食施設の導入
- 芝や樹木の維持管理
- 管理・運営手法の検討

庁内関係部局ヒアリング

- 狭隘な園内のため、関係課連携のもと、安全かつ円滑な工事進捗
- 景観まちづくり審議会の意見聴取
- 運動施設の段差解消
- メインスタンドの日除け設置
- イベント時など、駐車場不足問題による駐車スペースの確保
- 大型バス専用の駐車場の整備
- 園路の歩車分離、子どもでもわかりやすく表示。
- 子どもが体を動かす場の整備
- スポーツコンベンションの推進
- 維持管理費用の低減
- 既存イベントに加え新たなスポーツイベントにつながる拠点整備
- レンタル自転車で園内を走行できる環境整備
- こどもトイレ、授乳室、おむつ交換台の設置
- バリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備
- 非常用電源の設置（人工呼吸器装置）や部屋として利用できるよう仮設間仕切り
- 広域避難場所として防災機能拡充
- 駐車場有料化など、財源の確保

上位関連計画

総合計画 SDGs	・スポーツコンベンションの推進やスポーツ交流拠点の形成、障がい者等のスポーツ参加
脱炭素	・公園の緑地の保全や再生可能エネルギーの導入の推進
ニューノーマル	・グリーンインフラとしての保全・利活用、誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間
スポーツ	・スポーツの成長産業化や、生涯スポーツの推進
観光	・スポーツツーリズムの推進とスポーツ交流拠点の形成
防災	・広域避難場所としての防災関連計画と連携した機能等の導入
みどり・景観	・みどりの拠点として緑の保全 ・浦添の風土やみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全

周辺市町村住民意向と各調査のクロス分析

周辺市町村住民（利用者）

中年層の子育て世代は、ゆっくりと時間を過ごすことができる場や、子どもの遊び場の整備など、**子どもの利用と本人の余暇を楽しむような要望**がある。
自然を感じながら**ゆっくり時間を過ごすことができるような空間や子ども連れの家族などが安心して過ごすことができる場の整備に取り組む必要**がある。

若年層及び中年層、高齢層に共通して、ゆっくり休むことができる公園と緑や花がきれいな公園へのニーズがあり、自然を感じることができる緑地の維持管理や景観の形成、**ゆっくり時間を過ごすことができる園路や休憩所等の空間の整備に取り組む必要**がある。

共通して周辺市町村住民利用者は、交通手段で車利用が多くなっており、**駐車スペースの確保やアクセス方法の検討に取り組む必要**がある。

また、**公共交通アクセスのニーズもあり、交通手段としてバスが2番目に多いことから、周辺市町村からの公共交通アクセス方法の検討に取り組む必要**がある。

整備方針（案）

いつでも、誰でも、気軽に、いつまでも、緑や花等の自然を感じながら、スポーツ・健康づくりができる運動公園

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画
4　再整備に向けての課題及び解決策 【4-8　市民等の意向と各調査の関係性】

浦添市

周辺市町村住民（未利用者）

- 未利用者の回答の多くは、利用者と同様に、**30-50代の中年層**で、その家族構成は**子どもと同居の二世代世帯**が最も多く、**子育て世代**となっている。
- 公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**が多く。**公共交通アクセス**、**売店不足**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**ゆっくり休むことができる**公園」が最も多く、「**緑や花がきれいな**公園」「**カフェやレストランで食事等ができる**公園」となっており、休息や飲食店等の**癒し空間を求める**ような回答となっている。

- 次に回答の多い**10，20代の若年層**では、その家族構成は**親と同居の二世代世帯**が最も多くなっている。
- 公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**が最も多いが、**バス利用**の回答も多く、**公共交通アクセス**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**ゆっくり休むことができる**公園」が最も多く、次に「**街なかなどにある身近な**公園」「**緑や花がきれいな**公園」となっており、**本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。

- 回答が最も少ない**60代以上の高齢層**は、その家族構成は**一人暮らし**が最も多くなっている。
- 公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**が最も多いが、**バス利用**の回答も多くなっている。
- **駐車場不足**、**公共交通アクセス**、**施設老朽化**、**トイレや水飲み場不足**、**日陰や木陰不足**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**ゆっくり休むことができる**公園」が多く、次に「**街なかなどにある身近な**公園」「**緑豊かで自然と触れ合える**公園」となっており、**本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。

- 交通手段は、全ての年齢層で**車利用**が最も多かったが、同様に全ての年齢層で**バス**が**２番目に多い**回答となっている。

- 公園を利用しない理由では、「**家から遠い**」が最も多く、次に「**公園に用事がない**」という回答となっている。この回答により、**遠方からでも利用したい（訪れたい）と思うような**公園・施設の整備や運用の取組みが必要である。

利用者の動向（ビッグデータ分析）

滞留・移動	• 平時は、立体駐車場を除き、滞留・移動が特化する箇所はなし。 • イベント時は中央園路や市民体育館前での滞留・移動を確認。 • 平時とイベント時に利用者の多い時間帯でも利用の少ない箇所がある。 • 夜間から早朝の時間帯は、平時とイベント時共に、利用者が少ない。 • 利用者が少ない時間帯でも、陸上競技場や園路での滞留・移動が確認されることから、散歩やジョギング等の利用が想定される。 • 立体駐車場の滞留・移動により、車での来園が想定。
アクセス	• 県内利用者は運動公園を中心に半径２km範囲からのアクセスが多い。 • 県外利用者は主に那覇市や宜野湾市からのアクセスが多い。一方、プロ野球キャンプ時は北部地域からの、より広域的となっている。

関係機関等ヒアリング

• 観光客の利用促進 • 陸上競技場の機能更新 • 大型バスや障がい者用の駐車スペース確保 • イベントが出来るオープンスペースの確保 • 駐車場不足及びアクセス方法	• 新市民体育館整備後の運営 • 障がい者等に配慮した施設等の整備 • 外国人利用者を想定した施設・案内等の整備 • 飲食施設の導入 • 芝や樹木の維持管理 • 管理・運営手法の検討

庁内関係部局ヒアリング

• 狭隘な園内のため、関係課連携のもと、安全かつ円滑な工事進捗 • 景観まちづくり審議会の意見聴取 • 運動施設の段差解消 • メインスタンドの日除け設置 • イベント時など、駐車場不足問題による駐車スペースの確保 • 大型バス専用の駐車場の整備 • 園路の歩車分離、子どもでもわかりやすく表示。 • 子どもが体を動かす場の整備 • スポーツコンベンションの推進 • 維持管理費用の低減	• 既存イベントに加え新たなスポーツイベントにつながる拠点整備 • レンタル自転車で園内を走行できる環境整備 • こどもトイレ、授乳室、おむつ交換台の設置 • バリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備 • 非常用電源の設置（人工呼吸器装置）や部屋として利用できるよう仮設間仕切り • 広域避難場所として防災機能拡充 • 駐車場有料化など、財源の確保

上位関連計画

総合計画 SDGs	• スポーツコンベンションの推進やスポーツ交流拠点の形成、障がい者等のスポーツ参加
脱炭素	• 公園の緑地の保全や再生可能エネルギーの導入の推進
ニューノーマル	• グリーンインフラとしての保全・利活用、誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間
スポーツ	• スポーツの成長産業化や、生涯スポーツの推進
観光	• スポーツツーリズムの推進とスポーツ交流拠点の形成
防災	• 広域避難場所としての防災関連計画と連携した機能等の導入
みどり・景観	• みどりの拠点として緑の保全 • 浦添の風土やみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全

周辺市町村住民意向と各調査のクロス分析

周辺市町村住民（未利用者）

中年層の子育て世代は、ゆっくりと時間を過ごすことができる場の整備や、カフェやレストランで食事等ができる場など、休息や飲食店等の癒し空間を求めるような要望がある。また、売店不足のニーズもあることから、**休息できる空間、便益施設の整備に取り組む必要**がある。

若年層は、緑や花等の自然を感じゆっくりと**時間を過ごすことができる場を求めるような要望**があり、**自然を感じることができる緑地の維持管理や景観の形成に取り組む必要**がある。

高齢層は、若年層と共通して、緑や花等の**自然を感じゆっくりと時間を過ごすことができる場を求めるような要望**がある。また、ニーズは多岐にわたっており、**運動施設、トイレ・水飲み場の整備、緑陰・木陰の確保等に取り組む必要**がある。

共通して周辺市町村住民未利用者は、公園を利用する場合に想定される交通手段としてバスが2番目に多く、公共交通アクセスのニーズもあることから、**周辺市町村からの公共交通アクセス方法の検討に取り組む必要**がある。

遠方からでも利用したい、訪れたくなるような公園・運動施設のハード整備・ソフト対策やスポーツを行う機会の創出として、新たなスポーツイベントにつながる施設整備や機能更新、イベントができるオープンスペースの確保、また、気軽に立ち寄り、花や緑を感じながら休息できる場の整備等が想定される。

整備方針（案）

いつでも、誰でも、気軽に、いつまでも、スポーツや健康づくり等に利用したい、訪れたくなるような運動公園

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画
4　再整備に向けての課題及び解決策 【4-8　市民等の意向と各調査の関係性】

浦添市

観光客利用者（県外）	・回答が最も多い**30-50代の中年層**の交通手段は**車利用**が多く、次にバス、モノレールが利用されている。 ・公園の要望では、「**プロスポーツの試合やキャンプをみることができる**公園」が多く、次に「**カフェやレストランで食事等ができる**公園」となっている。 ・次に回答が多い**10，20代の若年層**も交通手段は**車利用**が多く、次にバス、モノレールが利用されている。 ・公園の要望では、「**プロスポーツの試合やキャンプをみることができる**公園」が多く、次に「**カフェやレストランで食事等ができる**公園」となっている。 ・**60代以上の高齢層**も**車利用**が最も多く、次にモノレール、その他となっている。 ・公園の要望では、「**プロスポーツの試合やキャンプをみることができる**公園」が最も多く、次に「**緑や花がきれいな**公園」となっている。 ・**全ての年齢層**において**飲食店**、**売店**、**ホテル**のニーズが最も多く。公園の要望は**プロスポーツの試合等を楽しみ、飲食店等で滞在できる**ような回答となっている。
観光客利用者（県内）	・回答が最も多い**30-50代の中年層**の交通手段は**車利用**が多く、次にバス、バイクが利用されている。 ・公園の要望は、「**プロスポーツの試合やキャンプをみることができる**公園」が多く、次に「**子どもを安心して遊ばせられる**公園」となっている。 ・次に回答が多い**10，20代の若年層**の交通手段は殆どが**車利用**である。 ・公園の要望は、「**プロスポーツの試合やキャンプをみることができる**公園」が多く、次に「**楽しい遊具がある**公園」「**子どもを安心して遊ばせられる**公園」となっている。 ・**60代以上の高齢層**の交通手段は**車利用**が多く、次に徒歩やバス、モノレールの回答が他世代より多い。 ・公園の要望では、「**緑や花がきれいな**公園」が多く、次に「**子どもを安心して遊ばせられる**公園」となっている。 ・**全ての年齢層**において**飲食店**、**子どもの遊び場**、**ホテル**のニーズが最も多く。公園の要望は**プロスポーツの観戦や、緑や花を楽しみ、子どもが安心して遊べる**ような回答となっている。
観光客未利用者	・**10，20代の若年層**の回答が最も多く、公園の要望は、「**カフェやレストランで食事等ができる**公園」「**ゆっくり休むことができる**公園」が多い。 ・次に回答が多かった**30-50代の中年層**の公園の要望は、「**子どもを安心して遊ばせられる**公園」「**緑や花がきれいな**公園」「**カフェやレストランで食事等ができる**公園」が多い。

利用者の動向（ビッグデータ分析）	滞留・移動	・平時は、立体駐車場を除き、滞留・移動が特化する箇所はなし。 ・イベント時は中央園路や市民体育館前での滞留・移動を確認。 ・平時とイベント時に利用者の多い時間帯でも利用の少ない箇所がある。 ・夜間から早朝の時間帯は、平時とイベント時共に、利用者が少ない。 ・利用者が少ない時間帯でも、陸上競技場や園路での滞留・移動が確認されることから、散歩やジョギング等の利用が想定される。 ・立体駐車場の滞留・移動により、車での来園が想定。
	アクセス	・県内利用者は運動公園を中心に半径２km範囲からのアクセスが多い。 ・県外利用者は主に那覇市や宜野湾市からのアクセスが多い。一方、プロ野球キャンプ時は北部地域からの、より広域的となっている。

関係機関等ヒアリング	・観光客の利用促進 ・陸上競技場の機能更新 ・大型バスや障がい者用の駐車スペース確保 ・イベントが出来るオープンスペースの確保 ・駐車場不足及びアクセス方法	・新市民体育館整備後の運営 ・障がい者等に配慮した施設等の整備 ・外国人利用者を想定した施設・案内等の整備 ・飲食施設の導入 ・芝や樹木の維持管理 ・管理・運営手法の検討
庁内関係部局ヒアリング	・狭隘な園内のため、関係課連携のもと、安全かつ円滑な工事進捗 ・景観まちづくり審議会の意見聴取 ・運動施設の段差解消 ・メインスタンドの日除け設置 ・イベント時など、駐車場不足問題による駐車スペースの確保 ・大型バス専用の駐車場の整備 ・園路の歩車分離、子どもでもわかりやすく表示。 ・子どもが体を動かす場の整備 ・スポーツコンベンションの推進 ・維持管理費用の低減	・既存イベントに加え新たなスポーツイベントにつながる拠点整備 ・レンタル自転車で園内を走行できる環境整備 ・こどもトイレ、授乳室、おむつ交換台の設置 ・バリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備 ・非常用電源の設置（人工呼吸器装置）や部屋として利用できるよう仮設間仕切り ・広域避難場所として防災機能拡充 ・駐車場有料化など、財源の確保

上位関連計画	総合計画 SDGs	・スポーツコンベンションの推進やスポーツ交流拠点の形成、障がい者等のスポーツ参加
	脱炭素	・公園の緑地の保全や再生可能エネルギーの導入の推進
	ニューノーマル	・グリーンインフラとしての保全・利活用、誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間
	スポーツ	・スポーツの成長産業化や、生涯スポーツの推進
	観光	・スポーツツーリズムの推進とスポーツ交流拠点の形成
	防災	・広域避難場所としての防災関連計画と連携した機能等の導入
	みどり・景観	・みどりの拠点として緑の保全 ・浦添の風土やみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全

観光客意向と各調査のクロス分析

観光客

県外観光客利用者は、**プロスポーツの試合等を観戦**できることを求めており、また、**ゆっくりと時間を過ごすことができる場（飲食店等）の要望**がある。
園内には利用者が特化して集まっている場所も少なく、関係団体等からも飲食施設等の賑わい施設の導入を求められているため、**飲食施設の充実が必要**である。

県内観光客利用者は、交通手段で車利用が多くなっており、**駐車スペースの確保やアクセス方法の検討に取り組む必要**がある。
また、子どもの利用のニーズがあることから、**子ども連れの家族などが安心して過ごすことができる場**の整備に取り組む必要がある。

県外及び県内観光客利用者の高齢層に共通して、緑や花がきれいな公園へのニーズがあり、**自然を感じることができる緑地の維持管理や景観の形成に取り組む必要**がある。

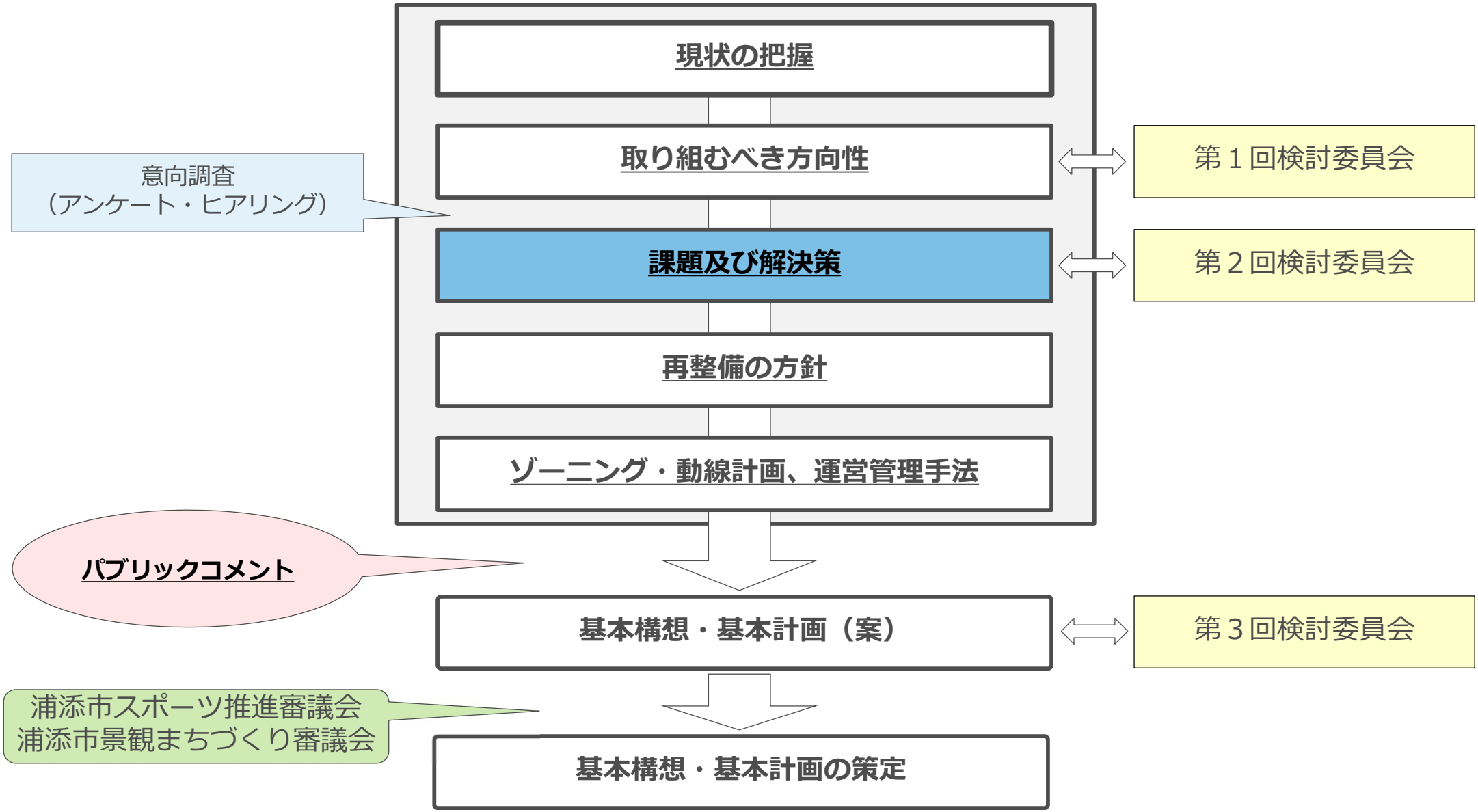
観光客未利用者の回答は10，20代の若年層の回答が多く、飲食店の要望が多いことから、**若者を引き付ける飲食店など、魅力向上を図る施設整備が必要**である。

共通して観光客は、プロスポーツの試合やキャンプをみることができる公園のニーズがあり、再整備後のスポーツコンベンションの推進などに取り組む必要がある。

整備方針（案）

いつでも、誰でも、気軽に、いつまでも、観るスポーツ等を楽しみ、ゆっくりと滞在できる運動公園

• アンケート調査やヒアリング、先進事例調査等から再整備に向けて取り組むべき課題及びその解決策を示します。



浦添運動公園再整備基本構想・基本計画
4　再整備に向けての課題及び解決策 【4-9　再整備に向けての課題及び解決策】

浦添市

取り組むべき方向性	前回委員会の主なご意見	調査内容			課題（案）
利用者の視点 ・市民・県民・県外の交流促進 ・子供から高齢者や障がい者、外国人を含め、全ての利用者の交流促進 ・誰もが利用しやすい施設・サービス ・ユニバーサルデザインの適用 ・未利用者の利活用促進 ・観るスポーツの普及促進 ・スポーツ活動を支える人材育成・確保	県外観光客や利用者、障がい者のニーズ等の把握	市民等の意向 アンケート結果 ・利用者のニーズ ・未利用者のニーズ ・観光客のニーズ ・障がい者のニーズ	関係機関等 ヒアリング結果 ・団体のニーズ ・障がい者のニーズ	利用者の動向 ビックデータ分析 ・平時の利用者動向 ・イベント時の利用者動向 ・公園へのアクセス	**まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした公園づくり** 利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備 グリーンインフラとしての保全・利活用 人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場 利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保
施設の視点 ・公園・運動施設の魅力向上 ・公園・運動施設の機能強化 ・誰もが利用しやすい施設・サービス ・ユニバーサルデザインの適用 ・公園・各運動施設の防災機能 ・公園・運動施設へのアクセス性（公共交通の利用促進） ・駐車スペースへの対応	既存市民体育館のあり方 駐車スペースの拡充や公共交通との連携 陸上競技場の観客席や諸室の検討 運動公園の防災機能の検討 正面ゲートからの動線や園路の勾配の検討	市民等の意向 アンケート結果 ・利用者のニーズ ・未利用者のニーズ ・観光客のニーズ ・障がい者のニーズ	関係機関等 ヒアリング結果 ・団体のニーズ ・障がい者のニーズ	類似施設調査結果 ・同規模、同程度の公園の現場調査	**安全・安心で誰もが利用しやすく、楽しめる公園づくり** 老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化 観るスポーツの楽しみ方の提供 便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上 既存市民体育館の今後の運用
財政・予算の視点 ・持続的な運営・維持管理 ・民間活力等による財源の効率化 ・収益確保による財政の負担軽減	既存市民体育館のあり方と併せてPark-PFIを検討	関係機関等 ヒアリング結果 ・関係機関の意見、助言等	類似施設調査結果 ・同規模、同程度の公園の現場調査	民間活力の活用 先進事例調査結果 ・PFI（コンセッション方式）、Park-PFI、指定管理者制度のヒアリング	**公園・運動施設の持続可能な管理運営** 公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新 民間活力等による財源の効率化 収益確保による財政の負担軽減
スポーツ行政の視点 ・スポーツを通じて活力あるまちづくり ・周辺環境への対応 ・カルチャーパークとの連携・機能強化 ・公園全体の景観やみどりの保全・創出 ・公園・各運動施設の防災機能・計画 ・地域スポーツの育成・支援・推進 ・スポーツコンベンションの推進 ・スポーツキャンプ地としての機能強化	関係団体へのヒアリングが必要	国等の取組 既往資料調査結果 ・国、県、他市町村の取組み	関係機関等 ヒアリング結果 ・関係機関の意見、助言等	類似施設調査結果 ・同規模、同程度の公園の現場調査	**スポーツを通じて活力あるまちづくりの推進** 上位・関連計画や施策と連携した再整備計画 市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり スポーツコンベンションの推進 プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画
4　再整備に向けての課題及び解決策 【4-9　再整備に向けての課題及び解決策】

浦添市

課題（案）

まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした公園づくり

利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備
市民のニーズであるスポーツ・健康づくりの空間整備を基本とし、他市町民や観光客、障がい者のニーズや公園利用の現状等を鑑み、より公園利用の促進を図るため、公園利用者の目的・形態に応じた空間整備が必要である。

グリーンインフラとしての保全・利活用
上位関連計画の取組みやみどりの拠点としての位置付け、環境、防災の観点から、まちなかの立地や特徴的な地形等を活かした、緑地並びに自然景観の維持・保全は必要である。

人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場
新型コロナウイルス感染症の拡大とデジタル化の急速な進展等により、人々の生活様式は大きく変化・多様化する中、ニューノーマル社会への対応として、スポーツを核に住民・観光客・軍人・軍属等のつながりや交流を生み出す拠点づくりが必要である。

利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保
市民等や関係団体の公共交通のアクセス性や駐車スペースの不足に関するニーズ、イベント時の混雑状況等により、公園利用者の利便性の向上を図る整備や運用等が必要である。

安全・安心で誰もが利用しやすく、楽しめる公園づくり

老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化
公園の供用開始後、30年以上経過し、施設・設備の老朽化や陳腐化が見受けられ、市民等のニーズでも老朽化の対応が求められている。施設・設備の更新や機能の拡充・強化等による公園の魅力向上を図る取組みは必要である。

観るスポーツの楽しみ方の提供
上位関連計画のスポーツ成長産業化の展開への呼応や本市の新たな観光・交流拠点の形成を図るため、観るスポーツに対応した施設整備等が必要である。

便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上
園内施設の利用状況や市民、観光客による売店不足のニーズなど、売店や飲食店の設置が求められている。公園の魅力、利便性の向上を図る便益施設の設置が必要である。

既存市民体育館の今後の運用
新市民体育館の供用開始に伴う既存市民体育館の運用について、施設の老朽化や利用人数、園内の施設配置を鑑み、今後の方針・計画策定は必要である。

解決策（案）

- 公園・運動施設へのユニバーサルデザインの適用
- 園路の再整備
- 緑地の適正な配置
- オープンスペースの配置
- 案内表示の再整備
- オープンスペース等を活用した交流促進
- ICTを活用した交流イベント等の情報発信
- 適切な運用と駐車スペースの増設
- 公共交通利用促進

- 陸上競技場の再整備
- 運動施設・設備の更新
- 公園・運動施設へのユニバーサルデザインの適用
- プロスポーツのレベルに合わせた施設整備
- 観るスポーツの施設整備
- 地域防災計画と連携した防災機能の確保
- Park-PFIを活用した便益施設の導入
- 既存市民体育館の運用方針の検討

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画
4　再整備に向けての課題及び解決策 【4-9　再整備に向けての課題及び解決策】

浦添市

課題（案）	解決策（案）
公園・運動施設の持続可能な管理運営	
公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新 限られた財源の中で、公園利用者の多様なニーズや利用目的、安全・安心な利用等に柔軟かつ適切に対応していくため、公園・施設・設備の適切かつ持続可能な維持管理・更新は必要である。	**公園・運動施設の運営・管理手法の見直し**
民間活力等による財源の効率化 公園の付加価値（魅力創出による利用者増加に伴う収益確保）や維持管理・更新費用の低減を図るため、民間活力の導入など、財源の効率化を図ることが必要である。	**新市民体育館のPFI(コンセッション方式）等による管理・運営**
収益確保による財政の負担軽減 市民や観光客等の売店・飲食店のニーズ、公園利用者の低未利用地の活用、新施設の利用料金による収益の確保など、園内の収益性を考慮した取組みを実施し、財政の負担の軽減を図ることが必要である。	**Park-PFIを活用した便益施設の導入** **協働による公園の維持管理**
スポーツを通じて活力あるまちづくりの推進	
上位・関連計画や施策と連携した再整備計画 昨今の社会情勢（少子高齢化、地球温暖化対策等）を鑑み、SDGsや脱炭素化に向けた施策や上位関連計画の方針等と整合・連携を図った再整備計画を策定する必要がある。	**上位関連計画の改定及び再整備計画を踏まえた市計画の改定**
市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり 公園全体の魅力向上を図り、スポーツ・健康づくり等による活力あるまちづくりを推進するには、役割分担をしつつ、市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公益的な取組みを実施していくことが必要である。	**部局横断による庁内協力体制の構築** **市民・地域住民・事業者等の持続的な活動や取組み**
スポーツコンベンションの推進 スポーツコンベンションは、観光やスポーツ振興、青少年の健全育成、地域活性化等に大きく寄与するため、運動公園再整備に伴う、スポーツコンベンションの推進の取組みが必要である。	**スポーツコンベンション誘致戦略の策定**
プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致 スポーツを通じた活力あるまちづくりの**推進**には、高いレベルのスポーツを観戦する機会やアスリートとの交流機会が一助となるため、プロスポーツに対応した環境整備や関係団体等と連携した誘致等の取組みが必要である。	**プロスポーツのレベルに合わせた施設整備**